

平成28年度 第8回 WEBアンケート 調査報告書

1 「食育」

保健福祉局健康部健康支援課

2 「通学路のカラー化」

建設局土木部維持管理課

3 「平和啓発事業」

市民局市民自治推進部市民総務課

市民局市民自治推進部広報広聴課

目 次

WEBアンケート調査結果

ページ

・ 「食育」	 1
・ 「通学路のカラー化」	 4
・ 「平和啓発事業」	 5
・ 選択肢:その他()	 7
・ 自由記述	 8

回 答 者 属 性

回 答 者 数	641 人
---------	-------

性 別		
男	329	51.3%
女	307	47.9%
未回答	5	0.8%
計	641	100.0%

職 業		
会社員	218	34.0%
自営・自由業	36	5.6%
パート・アルバイト	95	14.8%
公務員	26	4.1%
学生	7	1.1%
専業主婦・主夫	129	20.1%
無職	109	17.0%
その他	21	3.3%
計	641	100.0%

年 代		
～10代	1	0.2%
20代	31	4.8%
30代	114	17.8%
40代	218	34.0%
50代	100	15.6%
60代	88	13.7%
70代以上	89	13.9%
計	641	100.0%

居 住 区		
中央区	155	24.2%
花見川区	103	16.1%
稲毛区	102	15.9%
若葉区	98	15.3%
緑区	64	10.0%
美浜区	119	18.6%
計	641	100.0%

WEBアンケート調査結果

1 調査名	「食育」「通学路のカラー化」「平和啓発事業」
2 調査期間	平成28年11月 1日(火)午前10時 ~ 同月10日(木)午後 5時
3 回答者数	641 人

※割合(%)は複数選択の設問や、小数点第2位以下四捨五入のため、割合の合計が100%にならない場合があります。

- 概要:
- 1 本市では、「第2次千葉市食育推進計画」を策定し、食育※の推進に取り組んでおります。食育に関しての意識等をお聞かせいただき、より一層の市民の健康づくりや食育を推進するため、次期食育推進計画策定の参考資料として活用いたします。
※「食」に関する知識や「食」を選ぶ力を身につけ、健康的な食生活を実践する力を育んでいこうという取り組みです。
 - 2 通学路の安全対策として、路肩を緑色に着色する(カラー化)などの対策をとること、児童に歩く場所を明示するとともに、運転者に対し通学路であることの認識を持ってもらう効果があります。皆様のお考えをお聞かせいただき、今後の通学路整備に向けた参考資料として活用いたします。
 - 3 本市が実施する平和に関する啓発事業について、皆様の意識や要望、意見等をお聞かせいただき、今後の平和啓発事業の参考に活用いたします。
※ 参考URL(下記):「平和都市 千葉市へようこそ」(市ホームページ)

参考URL: <http://www.city.chiba.jp/shimin/shimin/somu/newheiwaindex.html>

- Q1: 「食育」についてお聞きします。
安全な食生活を送ること※についてどの程度判断していますか。
※ 消費期限を確認する、保存方法を守る、加熱処理をする 等

(1つだけ)(入力必須)

必ず判断している	212	33.1%
概ね判断している	375	58.5%
あまり判断していない	50	7.8%
全く判断していない	4	0.6%
計	641	100.0%

- Q2: 「消費期限」や「アレルギー表示」など、容器包装に記載されている表示は食品を買う時や食べるときに確認していますか。

(1つだけ)(入力必須)

非常にあてはまる	214	33.4%
概ねあてはまる	318	49.6%
どちらでもない	54	8.4%
あまりあてはまらない	43	6.7%
全くあてはまらない	12	1.9%
計	641	100.0%

- Q3: 「賞味期限」を過ぎた食品であっても、必ずしもすぐに食べられなくなるわけではないため、においや見た目など食品の状態に応じて判断していますか。

(1つだけ)(入力必須)

非常にあてはまる	277	43.2%
概ねあてはまる	305	47.6%
どちらでもない	25	3.9%
あまりあてはまらない	25	3.9%
全くあてはまらない	9	1.4%
計	641	100.0%

- Q4: 食品に表示されている「保存方法」や「使用方法」は守るようにしていますか。

(1つだけ)(入力必須)

非常にあてはまる	222	34.6%
概ねあてはまる	367	57.3%
どちらでもない	30	4.7%
あまりあてはまらない	20	3.1%
全くあてはまらない	2	0.3%
計	641	100.0%

- Q5: 生肉や生魚を扱った調理器具(包丁、まな板、トング、箸等)は専用のものを使用するか、他の調理に使用する場合には熱湯をかける、またはよく洗っていますか。

(1つだけ)(入力必須)

非常にあてはまる	225	35.1%
概ねあてはまる	246	38.4%
どちらでもない	72	11.2%
あまりあてはまらない	87	13.6%
全くあてはまらない	11	1.7%
計	641	100.0%

- Q6: 料理は長時間、室温で放置しないようにしていますか。

(1つだけ)(入力必須)

非常にあてはまる	199	31.0%
概ねあてはまる	344	53.7%
どちらでもない	66	10.3%
あまりあてはまらない	27	4.2%
全くあてはまらない	5	0.8%
計	641	100.0%

- Q7: 生の状態(生食用として販売されているものは除く)や加熱が不十分な状態では、肉を食べないようにしていますか。

(1つだけ)(入力必須)

非常にあてはまる	401	62.6%
概ねあてはまる	199	31.0%
どちらでもない	28	4.4%
あまりあてはまらない	12	1.9%
全くあてはまらない	1	0.2%
計	641	100.0%

- Q8: 健康食品は、医薬品とは違うので、薬と同じように使用すると病気の治癒が遅れたり症状が悪化したりすることがあるため、病気の治療目的で使用しないようにしていますか。

(1つだけ)(入力必須)

非常にあてはまる	293	45.7%
概ねあてはまる	198	30.9%
どちらでもない	105	16.4%
あまりあてはまらない	41	6.4%
全くあてはまらない	4	0.6%
計	641	100.0%

- Q9: 病者、小児、妊産婦、高齢者等は健康被害を起こしやすいため、健康食品の利用にあたっては注意をしていますか。

(1つだけ)(入力必須)

非常にあてはまる	255	39.8%
概ねあてはまる	226	35.3%
どちらでもない	109	17.0%
あまりあてはまらない	38	5.9%
全くあてはまらない	13	2.0%
計	641	100.0%

- Q10: 健康食品を選ぶ場合は、「成分名、含有量、使用上の注意、問い合わせ先、品質保証に関するマーク等」表示されている内容をよく読んで検討してから購入していますか。

(1つだけ)(入力必須)

非常にあてはまる	168	26.2%
概ねあてはまる	248	38.7%
どちらでもない	129	20.1%
あまりあてはまらない	83	12.9%
全くあてはまらない	13	2.0%
計	641	100.0%

- Q11: 郷土料理や伝統料理など地域や家庭で受け継がれてきた料理や味、箸づかいなどの食べ方・作法を受け継いでいますか。また、地域や次世代(子どもやお孫さんを含む)に対して伝えていきますか。

(1つだけ)(入力必須)

受け継いでいる / 伝えている	267	41.7%
受け継いでいる / 伝えていない	152	23.7%
受け継いでいない / 伝えていない	222	34.6%
計	641	100.0%

- Q12: あなたを含む家族の中で農林漁業体験※に参加した人はいいますか。
※ 家庭菜園や魚釣り、野菜の収穫や田植え・稲刈り等の体験を含む。

(1つだけ)(入力必須)

いる	340	53.0%
いない	301	47.0%
計	641	100.0%

Q13: 「食品ロス(食べられるのに廃棄される)※」という社会問題について知っていましたか。

※ 日本では年間約1,700万トンの食品廃棄物が排出されており、このうち「食品ロス」は約500～800万トン(日本の米の年間収穫量に匹敵)と試算され、資源・環境等の観点から大きな問題となっています。

(1つだけ)(入力必須)

詳しく知っていた	105	16.4%
概ね知っていた	433	67.6%
あまり知らなかった	87	13.6%
全く知らなかった	16	2.5%
計	641	100.0%

Q14: 「食品ロス」を軽減するために取り組んでいることはありますか。

(いくつでも)(入力必須)

小分け商品等食べきれる量を購入する	276	11.1%
冷凍保存を活用する	440	17.8%
日頃から冷蔵庫等の食材の種類、量、期限表示を確認する	300	12.1%
「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する	424	17.1%
料理を作りすぎない	249	10.0%
残さず食べる	449	18.1%
飲食店で注文し過ぎない	308	12.4%
取り組んでいることはない	18	0.7%
その他()	14	0.6%
計	2,478	100.0%

Q15: ここからは「通学路のカラー化」についてお聞きます。
路肩を緑色でカラー化している箇所を見たことはありますか。

(1つだけ)(入力必須)

ある	359	56.0%
ない → Q17へ	282	44.0%
計	641	100.0%

Q16: Q15で「ある」と回答した方にお聞きます。
カラー化された路肩を見て、どのように感じましたか。

(1つだけ)

通学路と認識した	157	24.5%
何らかの安全対策と認識した	181	28.2%
何も感じていない	11	1.7%
その他()	4	0.6%
未回答	288	44.9%
計	641	100.0%

Q17: 通学路のカラー化※の対象道路120kmを計画的に進めるには、期間としてどの程度必要と考えますか。

※ 市内の各学校から半径約500m以内の歩道のない通学路で、全長約120kmをカラー化の対象道路としています。なお、市内の通学路は全長約360kmあり、現在までに約14kmをカラー化しています。

(1つだけ)(入力必須)

6年以内(他の安全施設整備を縮減し、優先してカラー化を実施する。)	321	50.1%
7～9年以内(他の安全施設整備と並行してカラー化を実施する。)	233	36.3%
10年以上(他の安全施設整備を優先して実施する。)	87	13.6%
計	641	100.0%

Q18: 通学路のカラー化に対するご意見をお聞かせください。

(自由記述)

回答	362	56.5%
未回答	279	43.5%
計	641	100.0%

Q19: ここからは「平和啓発活動」についてお聞きします。
本市が戦時中に空襲被害※にあったことを知っていましたか。
※ 特に昭和20年6月10日と7月7日(七夕空襲)に大きな空襲被害を受けています。

(1つだけ)(入力必須)

日時、内容とも知っていた	98	15.3%
本市で空襲があったことは知っていたが、内容は知らなかった	346	54.0%
知らなかった	197	30.7%
計	641	100.0%

Q20: 市内に戦跡(旧日本軍の施設、空襲や復興の碑等)があることを知っていましたか。

(1つだけ)(入力必須)

名称、内容とも知っていた	115	17.9%
戦跡があることは知っていたが、内容は知らなかった	269	42.0%
知らなかった → Q22へ	257	40.1%
計	641	100.0%

Q21: Q20で「名称、内容とも知っている」、「戦跡があることは知っていたが、内容は知らなかった」と答えた方にお聞きします。
戦跡を実際にご覧になったことはありますか。

(1つだけ)

ある	176	27.5%
ない	188	29.3%
未回答	277	43.2%
計	641	100.0%

Q22: 本市では次の平和に関する啓発事業を行っておりますが、知っている啓発事業はありますか。

(いくつでも)

千葉空襲写真パネル展	262	25.5%
戦跡めぐりウォーキング	90	8.8%
平和アニメ上映・講話会	46	4.5%
平和啓発パンフレット「考えよう平和の大切さ」の配布	53	5.2%
平和の折り鶴の募集(広島・長崎への千羽鶴送呈)	42	4.1%
千葉空襲・戦争体験談などのDVD・ビデオ、写真パネルの貸出し	55	5.4%
平和都市宣言	174	16.9%
平和都市宣言記念像	27	2.6%
平和首長会議加盟	18	1.8%
知っている啓発事業はない	258	25.1%
未回答	2	0.2%
計	1,027	100.0%

Q23: 平和啓発パンフレット「考えよう平和の大切さ」をご覧になったことはありますか。

(1つだけ)(入力必須)

ある	71	11.1%
ない	570	88.9%
計	641	100.0%

Q24: 平和啓発事業を行うにあたり、どのような事業があったらよいと思いますか。また、戦争を知らない若い世代に戦争の悲惨さや平和の大切さを伝えるためには、どのような啓発方法が効果的か、考えをお聞かせください。

(自由記述)

回答	334	52.1%
未回答	307	47.9%
計	641	100.0%

選択肢:その他()

Q14: 「食品ロス」を軽減するために取り組んでいることはありますか。

様々な食品に関して、購入時、直ぐに消費するものは、賞味期限(※消費期限含む)の新しいものを敢えて購入せず、賞味期限(※消費期限含む)が間近に迫っているものを購入するよう心掛けている。

宴会等外食の食べ残しを持ち帰ることが可能か確認する。可能ならば持ち帰る。ほとんどの店は不可、なのが心苦しい。

賞味期限のあり方再度検討事項に、スーパー、コンビニなどは賞味期限が過ぎたものはどの様に処理しているのか。

野菜はなるべく産直品、地場産の物を購入している。スーパーのものより日持ちがするので廃棄することが少ない。

子供が残す可能性がある場合は、自分のを若干少なめにしておくなど。賞味期限を過ぎたものは大人が食べる。

その他 スーパー等で値引き品を買うようにしている(売れ残れば捨てられてしまうので)。

千葉市では、学校給食の廃棄も多い。子どもたちには給食は残さないようにさせる。

リサイクルで売っていたが、フードバンクの存在を知って寄付するようになった。

ブロッコリの茎や大根の葉など、食べられるものは積極的に活用しています。

大根や蕪の葉など、食用になる部分は廃棄しないで食べる。

残った食べ物はものによっては別の形に変えて食する。

無駄な買い物を控え、とれたての農作物を食べること。

安くても、今、要らない物は買わない。

上記を、人にも勧めています。

Q16: Q15で「ある」と回答した方にお聞きします。
カラー化された路肩を見て、どのように感じましたか。

先日、登校中に小学生が亡くなった事故がこのような線のひいてある道路でした。線だけでは注意喚起に
ならず危ないという認識です。

通学路ではなく一般的な歩行者用スペースだと思った。

歩行者専用スペースと認識している。

歩行者用の歩道と認識した。

自由記述

Q18: 通学路のカラー化に対するご意見をお聞かせください。

【有効回答数：354件】

(カラー化へ賛成に関するご意見：84件)

カラー化には賛成だが、そもそも道路を正しく歩くということを子ども達や親が行なっていない。近所の上の台小学校の前の道路(正門側)は、生徒の保護のために鉄の柵が設置され、ガードレールのような役割を果たしている。が、生徒やその親は柵の内側ではなく、外側を歩いているのをよく見かける。道路前の家の方々は、柵のために自家用車の出し入れがやりにくくなったり、車同士のすれ違いも難しい状況なのに、きちんと歩いていない小学生＆保護者を見ると非常に腹立たしい。さらに、正門前ではなく、裏門から帰る生徒が多く、道一杯に広がって傍若無人この上ない。おそらくカラー化するなら裏門側の道だと思うが、まるで歩行者天国のように広がって歩く生徒たちには正直困っています。

大賛成です。痛ましい事故が減ることを望みます。現在住んでいる地域は遊歩道が通学路になっているので、車との接触はほとんど心配ありません。しかし、自転車も遊歩道を自由に走れるので、そこはかなり危ないです。車道と違って道が広いので、自転車も人も自由に行き来します(前後左右斜め)。自転車同士の接触も何度か目にしました。最近の世の中の流れだと自転車は危険なので車道を走るようになってきています。しかし、この地域だけ時代遅れのように感じています。

千葉市から九十九里地域へ通勤しています。地方都市では歩道の整備がなく、車を運転していると危険を感じる事が多いです。自転車通行帯が青色で表示されている道路では、ノーカラーの道路よりも自転車を意識します。同様に通学路のカラー化道路は、歩行者を強く意識して走行することになると思います。人と車に非常に有意義な取り組みだと思います。

自転車専用レーンの際に、実際に使ってみると路上駐車等でレーンを使用する方が危険な点があったため、通学路のカラー化については慎重に調査のうえでやっていただきたい。千葉市はやっています、というアピールのためであるなら無意味、必要がない。(協議するための時間や労力、実際に作業する際の工事等が無駄)

車に乗る側からしても目で認識出来るので良いと思います。が、坂や安全対策等で利用されている粒状のカラー舗装(細かい粒を接着する方法の)は剥がれて道路周辺に粒が散っている場合が多いので、雨の日には自転車等では滑って怖い思いをしました。使用する材料や施工は良く吟味された方が良いかと思います。

Q17の「他の安全施設」が高齢者用や身体障害者用かなどがわからないためどの程度優先すべきか判断し兼ねる。ただ、この回答が認知症高齢者の運転による小学生の列への追突死亡事故がニュースになったタイミングなので、優先度は高いと感じる。

カラー化での識別は良いと思います。学校は8時過ぎには始まるのに、スクールゾーンの通行禁止が8時半までなのは見直してほしい。警察が隠れて捕まえる姿を見ると子供の通らない時間なのにともどかしく感じます。※千葉市ではありませんが・・。

児童数の多い地域から実施していった方が良い。安全のために下校もその道路を利用するように指導して、道路の舗装で認識出来たり・ボランティアなどにその道路を見回りしてもらい、運転者や不審者から、児童などを防ぐように努力して欲しい。

早く取り掛かって欲しいのはどこも同じだと思うが、事故が起こってからではなくその前にカラー化が実施できるといいなあと思います。併せてスクールゾーンの外部流入の車の規制を強化して欲しいと、千葉県警察に要請を出して欲しいです。

カラー化する事で、皆が通学路だと認識できるし、それにより、事故の軽減や、犯罪を未然に防ぐ効果もあるかなと思います。通学路に明らかに変な人がいたら、周りも気付きやすいし、通学路を意識して見る事も出来るから、良いと思う。

子供の安全に関する施策は最優先して実施すべきです。又、通学路に指定されている横断歩道のマークが薄く消えかかっているところを多く見かけます。各関係部署が連携して整備していくことを望みます。

通学路のカラー化は、車道と歩道が分かれていない(段差がない)狭い道路から優先的に行うほうが良いと思う。また、大通りのう回路や抜け道となっている通学路も優先的に行ったほうがよい。

子供も緑のところを歩くし、ドライバーも色を意識するから分かりやすいと思う。白だと色が光るから緑が妥当だと思う。ただこればかりに頼るのではなく、カーブミラーの増設も考えてほしい。
車を運転中に、緑色のカラーがあると、歩道と認識するし、駐車してはいけないとわかるのでとてもいいと思う。歩行者の立場でも、安心して歩けるし、車道に出ないようにも気をつけられる。
ご無理のない範囲で進めていただければよいと思っています。住民の注文は増えていると思いますが、不満が増えているのではなく、口にしやすくなった、ということだと思いますので。
安全な通学路を確保するとの意味に解釈できるので、カラー化と同時にスピードの出ない道路化を同時に進めてほしい。例えばここは、通学路だと示すために道路にでこぼこを作るなど。
とてもいいと思います。ただスピードの出る大きな道路に面した通学路にガードレールがなく危険を感じる場所があります。そういう対策も並行して調査・安全対策をしてほしいです。
子どもたちを対象にしているには非常に同感できるが、カラー化だけがすべてではない。でも良いと思うことは、とりあえず実践する事実と俊敏さは必要だと思うので頑張してほしい。
歩道のない通学路は解消すべきです。こういう目的でのカラー化は感心しません。子供達の危険は減らないばかりか、安全施設の整備が遅れる要因になりかねません。
こどもがふいに出て来る可能性があることを念頭に車を運転できるのでは。とてもいいことだと思う。ドライバーにはスピードを落としてもらうことが大切。
通学路とわかりやすくすることはドライバーにとってもとても良いことと思います。最近自転車の優先？道路を青くしているのももっと増やしてほしいです。
全国すべての地域で同一規格にて実施する様お願いする。カラー化で本当に問題が解決できるのか？（目標が達成できるのか？）審議内容を見てみたい。
一目で通学路と判断出来る事は良い事だと思います。路面は見えても、状況によっては通学路とかの標識を見落とす事も有る為有効だと思います。
先般通学路での事故があったとニュースで見た。末広地区は、子供が出歩いているのをよく見かけるので、カラー化等安全対策は必要と感じている。
道路に「スクールゾーン」と書いてある表示は見たことがありますが、やはり子どもにもドライバーにもカラー化の方が安全だと思っております。
ぜひ、積極的に進めていただきたい。私の住んでいる生実町は、道路も狭いしガードレールもないため、朝の通勤時は安心して送り出せません。
最近知らない道もナビを使って運転する機会が多くなったので、通学路をカラー化することによって、注意する意識が高まって良いと思う。
カラー化は比較的金がかからずできる安全対策だと思うので、半径500mに限らず、希望があったところへは実施して欲しい。
セーフティーウォッチャーをしている。子供たちが道幅いっぱい歩くことが多い。カラー化により歩くマナーもよくなる。
カラー化することにより運転者が注意することができるようになり通学中の事故が減るのではないだろうか。
車を運転する立場から見ると、気を付けようと思う。子供がいる立場からしても、何も無いより安心する。
学校の近くで乱暴な運転手を見かけ、心配なので、子供の安全対策の一つとして、進めて欲しい。
とても良いと思う。運転手にとって、標識などよりずっと視覚的に飛び込んでくるので意識する。
カラー化することはよいことだと思う。他の安全対策と共に進めていくべきものだと思います。
必要に応じて実施すればよい。児童の安全確保は他の施策も含めて確保に努めてほしい。

カラー化は悪くはないと思うが、自動車が駐車してしまうと通れなくなってしまうそう。
カラー化することは、車を運転する人にも注意を促すので、とても重要だと思います。
カラー化することで、車の運転者に意識をしてもらえようならば意味があると思う。
何かしら訴えかけるものがあると思います。注意喚起のためにも、必要だと思います。
注意しようと分かりやすくして良い。しかし他の安全設備もきつと重要だと思う。
通学路であると意識させ、違法駐車や交通安全最寄り意識させられるのでは。
カラー化の実施速度が遅すぎる。また、カラーの色があまり目立たない。
子どもたちにも子どものいない方にもわかりやすくとてもいいと思う。
子どもの安全安心はすべて人にとっての安心安全につながると思います。
カラーがあれば車を路駐しにくくなったり意識が高まるような気がする。
カラー道路を見ることで、その都度、気を付けるので良いと思います。
わかりやすく良いと思う。気をつけて運転していこうとおもう。
子どもたちが端を歩く意識をすることにつながっていいと思う。
車の運転の際にも、緑色はとても目立って安全に役立つと思う。
子供達が毎日のように通る場所とわかりやすくよいと思う。
子どもの安全を守ることは行政の大いなる務めと考えるから。
児童が登校する際に役立つため実施することはよいと考える。
歩道が確保されていない通学路のカラー化を優先してほしい。
自転車通行帯の表示同様、わかりやすく良いと思います。
カラー化することにより安全への強化に努めてほしいです。
子供たちの通学路の安全対策は一刻も早く実施してほしい。
カラー化した後の維持管理もしっかりやってもらいたい。
狭い道、信号機のない交差点はなどカラー化するべき。
色分けすることで、事故防止になればいいと思います。
注意喚起の方法の一つとして効果があると思います。
通学路以外も自転車レーン等どんどん進めて欲しい。
歩道が狭い幹線道路から優先的に実施するべきです。
範囲が明確になるので、分かりやすいと思います。

通学路のカラー化と歩道を広くして欲しい。
色を付けることで安全性が高まるなら良い。
ガードレールのない所は有効適だと思う。
事故をなくすため宜しくお願いします。
違法駐車がなくなることを望みます。
分かりやすくなったと思います。
安全対策の為必要だと思います。
なかなかよい処置だと思います。
狭い道でも安全性が増すと思う。
子供たちの安全のため、必要。
全部の学校にあった方が良いでしょう。
市内に充実させて頂きたい。
分けるのは目立つから良い。
わかりやすくして良いです。
良い取り組みだと思う。
交通事故が減りそう。
わかりやすくなった。
安全でいいと思う！
助かっています。
良いと思う。
よい。

(カラー化の早急実施に関するご意見：60件)

子どもたちは通学路でさえも時として遊び場になります。道路との境の一段上がったブロックの上を平均台のようにあるいてみたり、石ころを蹴っ飛ばして歩いてみたり、電信柱ごとにランドセルじゃんけんをしてみたり。なので、自分たちが歩く道に車道とは違う色がついている、というのは事故や飛び出しの多い低学年の子にとってはそれもまた新たな遊びを見つけられるでしょう。つまり、色をつけることによって、色のついた道をきちんと歩くようになると思いますので、予算と相談の上ですがなるべく早急にカラー化を実施していただけたらと思います。また、子どもたちだけではなく、カラーの歩道は高齢の方々にとっても歩道だという認識にもなり、よいと思います。

6年など何年もかけて行うような内容ではないと考えます。安全対策として今必要と考えるのであれば短期間で集中的に実施するのが良いのではないのでしょうか？費用面での問題であればそれを解決する方法を考え対策するのが良いと思います。たとえば地域や、地域の団体から募るというのも一つの方法ではないかと考えます。カラー化した道路で転倒した場合でも怪我をしにくいようになっていると良いです。滑りにくくするために細かなギザギザの表面になっていることが多いですが、この場合転んだときにすり傷で怪我しやすいので、滑りにくく怪我しにくい道路になっていると嬉しいですね。
カラー化の効果が具体的数値として、効果があるのであれば、早急に進めるべきだと思います。子供の人数は減っているのに、毎日のように車が投稿中の子供に突っ込んで、子供が被害に遭っています。登下校時はどのような登校形態(集団登校など)出会っても時間帯が集中するので事故は起こりやすいと思います。少しでも不幸な事後が減る方法に着手する必要があると思います。
自分の子どもが通う予定の学校まで、まだカラー化されておらず、しかし、道は狭く、歩道も狭いし、所々ない状態。車の往来も激しく、先日の軽トラに下敷きになった事故など聞くと、親としてはとても心配である。安全な通学路の確保を市として、早急に行って欲しい。
児童生徒の立場から見ても、歩くべきところがわかりやすいから、カラー化は早く進めたほうが良いと思う。でも、カラー化するのすら難しい、交通量も多い上に狭いという道があるのも事実。そういったところをどうするのか考えなければいけないと思う。
うちの子どもの通学路も、白線を引いただけのもので狭い。登下校時間でも、スピードを緩めない車も多い。カラー化を出来るだけ早く実行して欲しいし、また、それが通学路であるということを全国民が理解出来るよう、きちんと伝えて欲しい。
昨今の、小学生側に全く落ち度のない痛ましい事故の報道を目にする度、即急な対策を是非とも行って頂きたいが、危険はここだけでは無いため他の安全施設整備と平行して、なるべく早く対策して頂くように希望します。
学童の集団・整列・登校をしているのに事故に巻き込まれ、幼い命を奪われると言う事故がのニュースを最近毎日のように目にします。幼い命を守るために、できるだけ早い実施をお願いします。
遊歩道や歩道がない通学路を優先的に早急にやってあげて欲しいです。我が家の近くは歩道がしっかりしているけれど、少し離れたところは歩道がなく危ないと思うことがよくあります。
本来通学路は舗道を整備することがが最も重要と考えるが、現実的には難しい点も承知できる。歩道のない道のカラー化を早く整備し、学童の安全を守ることを早急に行うべきと思う。
歩道と車道がしっかり分離されているところは必要ないと思いますが、狭い道路でガードレールも設置できないところはなるべく早く行った方が良く思う。
通学中の児童の列に車が突っ込む死傷事故が後を絶たない中、少しでも事故が減らせるなら速やかにカラー化を実施していただきたいと切に思う。
歩道のない通学路のカラー化について初めて知りました。とても良い対応だと思いますのでできるだけ早く完了していただきたいとおもいます。
つい先日の横浜市の事故も含めて通学中の児童の列に車が突っ込む事故が後を絶たない昨今なので、早急な対応が望まれていることだと思う。
子供は自分を守り切る力は大人よりは弱いのですから、通学路のカラー化のみならず子供を守る施策は早急に拡充してほしい。
登校途中のこどもの自動車による加害が多いです。そのためにもカラー化を促進して、こどもの安全を確保してください。
ぜひ進めてほしい。特に副都心周辺は大規模集合住宅が乱立している状況なので、早急な対応が求められると感じる。
予算等の関係もあると思いますが、可能な限り早急に進めてほしい。6年以内は長すぎる。子供は宝です。
6年とか悠長なことを言わず、昨今の小学生が通学路で巻き込まれていることもあり、早急な対応を望む。

交通事故を防ぐ対策としてカラー化は大事だと思うので、点字ブロックと同様に早期に整備して欲しい。
自転車可の歩道のカラー化は無駄が多いと思うが通学路のカラー化は緊急に推進すべきだと思います。
無謀な運転によって幼い児童が亡くなる事故をよく耳にする。一日も早く通学路つくるべきである。
最近道路を普通に歩いても車が突進してくることが多いので早く整備した方がいいと思う。
高齢者の危ない運転が目立つため、早急に進めてほしい。順番的には小規模校からすべきです。
登校中の事故が増えています。カラー化はもちろんですが、早急な安全対策をお願いします。
歩道のない通学路への実施ということであれば、最優先して実施されるべき事項と考えます。
安全のためカラー化がベターであると結論を出したのであれば早急に実行に移すべきである。
知りませんでしたが、安全対策は即刻やって欲しいです。事故が起きてからでは遅いので。
危ない通学路は多々あります。歩行者、運転手にも分かりやすく早くしてほしい。
安全面を考慮して、できることなら早めに取り組んでいただきたいと思います。
最近、通学路の事故のニュースもあり、出来る対策はすぐに実施した方が良い。
なるべく早めに実施し、併せてドライバーに対しての意識向上を行ってほしい。
交通事故が多いこの頃なので、子供への対応はできるだけ早いほうが良い。
車両交通量の多い箇所で通学路としている地点は早く対応いただきたい。
車通りの多い道で路肩がない道では特に急いで取り組んでほしいです。
早く優先的に整備しないと、利用する子供がいなくなってしまう。
子供たちの安全確保のために、一日でも早く実現してもらいたい。
カラー化を急ぐとともに、対策について広く市民へ周知すべき。
交通事故を減らすためにも早くカラー化を実施してもらいたい。
ガードレール設置より安価なため、もっと早く実行すべき。
安全に関わることなので、効率的かつ迅速に対応してほしい。
安全は何よりも優先する、6年と云わずすぐ、実施すべき。
事故が相次いでいるので、できることから早急な対策を。
子どもの安全のためにも優先的に行っていただきたい。
子供たちの安全を守るためにぜひ進めていただきたい。
子どもが安全に通学できるよう早急に進めてほしい。
他県での自動車事故もあり、早急に対応願いたい。

予算との兼ね合いもあるが迅速に進めて欲しい！
可能なら、できるだけ早急に実施してください。
出来るだけ、早くしたほうが良いと思う。
できるだけ前倒しで実施してほしい。
交通事故を防ぐので進めてほしい。
絶対にやるべきだとおもいます。
積極的に推進すべきである。
積極的に推進すべきと思う。
推進していただきたい。
早期の対応を望みます。
早く整備してほしい。
早めをお願いします。
早急に進めるべき。

(周知・啓発・啓蒙に関するご意見：62件)

写真を見て『道路がこの色になっているのを、見た事があるな』と思ったが、通学路を表しているという事を知らなかった。知らなかったが、気を付けなくてはいけない気がしていたので、少しは効果があると思う。まずは子供達が交通ルールを守ることも大事だが、地域も意識する事は大切だと思う。
先日たまたま小学生高学年の子どもと、カラー化された道路を通ったときに、この道の話題になったのですが、緑のカラー化された道路が通学路の印(安全対策)だと子どもは知りませんでした。子どもも交通安全教室等で知っておいたおほうが良いと思います。
運転手にきちんと伝わっているのか疑問。子供の安全のためにカラー化するといってもその認知がなされなければ意味がない。反対にただ急いでいるだけの運転手は子供や高齢者がいるとアクセルを踏んで急いで通り抜けようとするのではないかな？
緑色の舗装＝通学路であることの認知を広める必要があると思う。児童の安全のため、特に危険な箇所では警察など公的な立場の方から、ドライバーへの運転に対する注意喚起(取締ではない)も平行して実施いただくと効果が上がると思う。
区別けることは良いと思いますがむしろ運転者がどの程度認識しているかが問題。狭い道などスピードを落とさずカラーされた部分をスピードを落とさず通過する車を多く見かける。運転者に対する啓発が必要でしょう。
仰々しくペインティングしなくても、色使い・ライン的な簡素化で良いのではないかな。保護者、学校などで指導するようにすれば子供たちは理解できよう、また、コスト的や作業時間短縮になる。自転車通路も同様。
カラー化はドライバー、通行人共に意識して安全通行するために行った方が良い。ただ、歩行者が交通ルールを知らないために、色付けだけでは有効ではない。教育もあわせて実施しないと意味がない。
カラー化は良いことだと思いますが、それを活用する、される事も実施すべきで、それが徹底されないとカラー化だけで終わってしまう。全ての運転者(「自」が付く乗り物)に知らしめて欲しい！。

自転車優先道路も そうですが、カラー化の所に 駐停車されそう。カラー化は、良いことと思いますが、住宅街など 道一杯に広がって歩く児童は、端を歩く習慣が付けば良いと思います。
通学路の安全整備も大切だが、交通マナーが守れない子供が多数いる事も考慮していただきたい。いくら大人が整備したところで、車道にまで広がって歩いていたら意味がないです。
交通安全対策と思うが、高齢ドライバー対策には果たしてどのくらい有効なのだろうか？ ドライバー一般には通学路と認識することにより、安全性が高まる施策とは思いますが。
道路整備も必要ですが、通学路での、わき見、スマホ、麻薬、高齢者等による集団登下校時の交通事故が多発している現在、道路整備よりも運転者に対しての厳しい指導が必要では？
最近自転車利用道路など新しいカラー道路標示が増えているが、これらは自動車免許更新時の教育に入っているのだろうか。車利用者に十分理解させないと意味がない。
この件に関する情報を周知徹底させることが肝要と思います。あらゆる手段を用い、交通安全活動、命を守る運動など、人々の意識向上を図るべきと考えます。
自転車、自動車の通行マナーも同時に向上しないとあまり効果は出ないと思いますので、警察等の関係省庁とも連携を取ることが大切だと思います。
通学路であっても、制限速度を超えた運転をしている乗用車をよく見かけます。カラー化がもっと浸透して、皆の意識が高くなれば良いと考えます。
生徒に徹底を図ることと、運転者にももっと告知すべきであります。特に、カラー化の箇所は、徐行運転等、厳しい指導を行うのが大切である。
カラー化しても慣れが出てきてしまう傾向があります。ドライバーと共に子ども達の交通ルールを毎年定期的に行うことが大切だと思います。
きちんと広報活動をした上で、カラー化しないと、見た人は何のためにカラー化されているのかわからずに、意味のないものになってしまう。
広く周知させる事が大切だと思います。カラー化するだけではなく「通学路」「徐行」という文字をしっかりと地面に記載してほしい。
通学のカラー化の認知度向上も必要だと思う。私は小学生の子供がおりますが、歩道のマーク(色分け)だと思い込んでいました。
ドライバー(ライダーも含む)の啓蒙活動に注力した方がよいと思います。10年もすれば団塊の世代ドライバーが半減している。
カラー化しても何でカラーかわからなければ意味がないため、認知度をあげるもしくは通学路の文字を書いた方が有効的だと思う。
今回、初めて通学路ということを知ったので、注意して歩いてみようと思いました。子供たちは認識しているのでしょうか？
カラー化も大切な事かと思います。子どもたちにも、広がって歩かない事や道でふざけないなどの指導もあればと思います。
通学路であってもスピードを出している車がたくさんいるので、もっと運転手に意識してもらえるようにしてほしい。
運転手だけでなく、児童・生徒の通学時のマナーが悪いので、カラーより交通ルールを学習する方が有効だと思う。
周知を進め、ドライバーや自転車運転者が年齢問わず認識し、意識する『モラル』が育つことをのぞみます。
子どもが認識するだけでなく、地域の人たちが認識することで、子どもたちの見守りにつながると思います。
カラーにするだけで効果はあるのか疑問が残る。免許更新時等で運転手に啓発することも有効ではないか。

自転車優先カラーもあり道路が色で賑わいますが、何よりも分かり易く意識が一つになることが大切です。
普段運転もするが意識したことがなかった。カラー化をすすめると同時にドライバーへの啓蒙活動も必要。
気づかない間に見ている可能性がある。それを「通学路のカラー化」と認識させる事が必要だと思う。
回覧板や掲示板だけでなく、スーパーマーケットや標識などで広く周知した方が良いと思います。
通学路のカラー化と見てすぐには意味を理解出来なかったので浸透していないように思った。
カラー化して通学児童の安全は確保すべき、併せて、自動車等の運転者に周知徹底すべき。
通学路のカラー化の推進と同時に、周辺住民や道路使用者にも周知することも大事です。
歩行者の安全と同等の意味合いも加えることで、一般の人にも啓蒙できると思う。
カラーの上に路上駐車している車もあるので、ドライバーが認識していない。
カラー化が何かを運転手とか大人、子供が分かる様に報せる事が重要です。
子供が安全に歩けるように、ハッキリ沢山の人にわかりやすくして欲しい。
この事業のことを、自動車ドライバーにも周知するような活動が必要かと。
通学中親も心配なのでわかりやすくなれば事故の件数も減ると思います。
安全運転に気をつける。速度を落とし周りの様子に敏感に反応するなど。
子供が理解しやすい事が重要な点です。それを見誤らないでください。
ハード面だけではなく、ソフト面(ドライバー側)への警鐘が必要。
自動車の運転の荒さが昨今目立つのでそちらを平行して解決すべき。
通学路に関係ないかたもふくめ、広い周知を徹底してほしい。
緑色カラーは通学路と広く認知させることが必要と思います。
もっとアピールして、一般人の認知度を高める必要がある。
運転者が知らなければ意味がないので周知徹底して欲しい。
交通安全教育の一環として広く広報。自治会等で周知する。
それに付随する交通教育も徹底しなければ、意味がない。
多分、通学路だと認識されていません。周知すべきでは？
通学路のカラー化と人・車共 良識を守る事の指導必要。
カラー化だけでなく、子供たちへの声掛けも必要。
ただやるのではなく、認識も必要だと思う。
周知をしないと気にしない人も多いと思う。

とても良いが、アピールが必要。
周囲への認知度が低い。
もっと周知が必要。
周知徹底。

(カラー化の改善に関するご意見：17件)

今後、児童世代の人口増加が見込める地域の通学路カラー化を優先的に着手するとよいと思います。地域外からの転居を検討する世帯などは、よく見て(観察して)います。エリア人口の希薄化が今後見込まれ、児童数が少なくなるエリアは投資効率の観点から優先順位を下げてよいと思います。その分、他の安全施設整備に予算を回してはどうでしょうか。
通学路としてカラー化した道路が近くにあるが、カラー幅が狭くて、しかもカラー化した幅の真ん中に電柱がでんと控えている。通学の安全を考えると意味がないところが多いと思う。カラー化するなら少なくとも1メートル幅はとるようにしていただきたい。
周辺の風景と合わなかったり、周囲が淡色の中だと緑が浮いて、視覚から不快感を感じるかも。子供は大丈夫だろうけれど、中高年(特に神経質な人)にとって気分がわるくなりそう。
緑色にするだけでなく、「通学路」という文字表記や、子供とわかるイラスト・マークなども一緒に、(看板ではなくて)道路上に示してほしい。
単なるカラー化ではなく、人間の錯視を利用した図形等を描く等、安全対策を併せて行われるとより効果的であると思う。
とても良いと思います。安心、安全に通学して欲しいです。少しラメなど入っていると暗くてもわかりやすいのかな??
暗くなっても光るように(小学生も高学年になると冬場は暗くなって帰ることも多いから)人と車にわかりやすく!
幅の狭い道路は、グリーン化しても歩行者用通路が十分確保できていないので一方通行にするなどの規制が必要。
カラー化だけでなく、何らかの規制とリンクさせなければ効果は見込めないと思う。(自動車乗り入れ制限など)
夜は見えにくいので、ヘッドライトに反射する塗料を使うとか、歩行者を守るものを第一に考慮して欲しい。
カラーだけでは判断できないひともいると思うのでランドセルやこどもの絵を加えるなどしたほうがいい。
意識の低いドライバーに通学路を認識してもらうために、緑色の部分を増やしたらいかがでしょうか。
自転車通路やJEFUNITEDの蘇我駅ではやっている。夜間の発光もついているのが良い。
カラー化と同時に通学の標識またはマークを路面に表示してはどうか?
ビビッドになるようにしつつも景観に配慮をお願いしたい。
スクールゾーンなど分かりやすく字も大きく提示する。
カラーだけでなく通学路と文字もふやすべきです。

(カラー化へ反対に関するご意見: 30件)

昨今、道路が歩道と車道の段差での境がなくなり車は細い道路でも走りやすくなったように感じるが、それは歩道に乗り上げて走行しているからで、歩行者にとっては危険になった。カラー化しても車は普通に自由に走る。年寄りが運転を辞めない限り、登下校中の子どもの安全は確保されない。また、主な通学路だけカラー化しても家の前からの細い道にもかかわらず、車の抜け道になっているようなところはしないわけで、あまり期待していない。ほかの話だが、蘇我の駅からの自転車の走る道のカラー化もほんの一部だけで、そもそも広い道路にスペースを取っているだけ。カラー化していなくても普通に走れる場所で無駄だった。だから、通学路のカラー化も同じような結果になるのではないかと思う。

先日の通学路でおきた死亡事故はこのような線だけの道でした。そのような事故が1件でもおきているのですから、カラーにするよりも、安全な歩道がある場所を、迂回してでも通学路にするべき。今2才の子供がいるので、こんな色のついた線だけある道を歩かせるのは絶対に反対！

カラー化の様に、運転者の注意力に頼るのでは事故は防げない。その点から、カラー化に税金を投入するのには反対する。ガードレールを設置するか、通学時間帯は車両通行止めにするなどの対策を最優先すべき。

子どもが毎日使う通学路は、道が狭いくカーブが続くわりに、速度をあげて通る車が多い。通学路をカラー化しても、運転手の意識が変わらなければ、事故は起きるし、カラー化はあまり意味がないように思う。

カラー化したからといって根本的な解決策になっていない。歩道を広げる、時間帯での車の規制等言い訳気味の対策ではいつか大きな事故が起こることは予想できるはず。

高齢化がすすむので、そちらを優先して取り組んだほうがよいと思います。子供に税金をかけるならば、学校のトイレを改修してください。よろしくお願いします。

カラー化の利点とコストの関係が不明である。現状では道路工事が無計画に頻繁に行われているので、カラー化は児童通学時の安全対策としては余り期待できない。

カラー化は小学生の登下校安全に寄与するには限定的と考えられる。他の安全整備をおろそかにしてまで進める必要はないと思う。

一般的効果はあると思うが、昨今の登校児童への自動車による事故などは運転手の問題であり、カラー化の施策では防げない。

通学路へクルマが突っ込む事故発生などのニュースを見るとカラー化は安全という意味では効果が薄いのではと思います。

最近続いている、登校中の列に突っ込む車のニュースを見るたびに、カラー化だけで子供たちを守れるとは思えません！！

通学路に車がつっこむ事故が頻発しているので、カラー化だけでは安全対策として不十分。

道が色々なカラーになるとごちゃごちゃしてわかりづらいので他の対策が望ましい。

非常に高価なわりに効果がないと思う。すぐに消えてしまうのでわかりづらい。

カラー化は交通事故低減に効果あると思われるので可能な限りはやめて欲しい。

色分けしたところで通学中の児童に突撃する車は減らないと思う。

必要とは全く思わない。過度な対策であり、不要。無駄。

通学路をカラー化することによる効果が理解できない。

通学路をカラー化する必要があるかよくわからない。

色を塗っただけでは、通学路とは認識しづらいと思う。

歩く学生のマナーが悪ければ、何をしても意味がない。

緑色にすることで、安全になっているのか？
カラー化に効果があるのかわからない。
あまり効果がないような気がする。
あまり効果があるとは思わない。
無駄、今さら必要ないと思う。
通学路カラーわかりづらい。
歩道あるところで必要なし。
あまり必要性を感じない。
事故が減るのですか？

（他の安全対策に関するご意見：68件）

・ガードレール、安全柵などの設置

カラー化することでどのくらい児童の安全が図れますか。他県・他市で報告があれば参考として公表していただきたいです。自転車のブルーのラインもそうですが道路と隣接しているため車を運転する側としてはもし車側に転倒でもしたらどうしようかと危険を感じます。カラー化するよりもガードレールなど生身の人間を少しでも守れるような方法のほうが安全に感じます。ガードレールを設置する広さがないのであれば、時間で通行規制をし、パトロールや警備をおくほうがいいのではないかと思います。（朝の時間交通規制はあっても下校時刻帯は規制がないことが多いです。朝の規制があっても侵入してくる車は少なくありません。警察はどこかの脇道に潜んでスピード違反などを取り締まって点数稼ぎするより、こういったことに時間をさいていただきたいです。）
何のためのカラー化ですか？事故から守るためですよね？だとしたら、事故は、車だけでなく、自転車との事故もあります。カラー化するよりも歩道にガードレールを設置するなど、歩道、車道、自転車道と分ける整備をする必要があるのではないのでしょうか。現状、狭い道路で、自転車は歩行者寄り、バイクは自動車寄りで走りますが、本当にそれで安全ですか？
カラー化で良い道もあると思いますが、カラー化しただけで安心と思われては、危ない道があるので、しっかりと確認をしてガードレールに変更をする道にアンテナをつねにアンテナをはってほしい。残念な車が子供たちの列に突っ込む事故などがあるととても心配になります。
近年、認知症と思われる高齢者の運転による事故の報道を多く見かけるようになりました。歩道のない通学路をカラー化はどの程度有効なのでしょう？少し遠回りになっても歩道を使っの通学や、ガードレールの設置のほうが安全が確保されると思います。
カラー化して、注意を払うようになりましたがガードレールの方が安心です。子供は話に夢中になったりふざけたりしてしまうので、車道に飛び出すことは避けられないと思います。子供たちにもカラー化した所を歩くように話をした方がいいですね。
カラー化よりも柵の設置を優先して欲しい。小学生の列に車が突っ込む事故が後を絶たない状況で、高齢者ドライバーが増えている中、事故を防ぐ物理的な手立てを急いだ方がよいと考える。
カラー化と並行してガードレールの設置をお願いします。また生活道でのスピード違反取り締まりやスピードを落とさない交差点での右左折など危険な運転が見受けられます。
ガードレールや歩車道境界ブロックの設置が優先されるべきであると考えており、幅員等の関係で、それらが設置できない場合にカラー舗装を実施するべきであると思う。
カラー化しても意味がわからない人もいるし、車でカラー部分を踏んでる事もあるので、通学路で交通量のおおい場合ではガードレールが一番いいと思う。

歩道が目立つのである程度効果的だと思います。ガードレール等を設置したり、狭い道の一方通行化も進めて欲しいです。
違反駐車を見かけることがあるし、踏んで通行する車もあるので、とても安全とは言えない。ポール設置は必要と思う。
学童の列に車が突っ込む事故が増えており、縁石やガードレールの設置をして車道との区分を明確にする必要がある。
通学路の拡幅による歩道の確保と、ガードレールなどの安全設備の設置の方が事故抑止・防止効果が高いと思います。
カラー化よりもガードを建てるなどの対策を立てるほうがより安全に貢献できるのではないだろうか。
運転者側からの意見としてはできるだけ多くのガードレール等を設置するべきだと思う。
通学路のカラー化とともに、ガードレールの設置など安全対策も同時にお願いいたします。
カラー化は大切ですが、同時に防護柵を設置しないと、誤走車からの防御ができない。
歩行者をガードする設備を優先してほしい。例ガードレール。縁石設置等。
安全対策と言うなら、カラーだけでなく、ガードレールの設置が必須。
カラー化と並行して安全柵も設置する。
歩道に柵を設置した方が安全だと思う。
・車両の速度抑制、通行規制 など
カラー化ではなく、他の手段を検討できないのか？例えば、道路に段差をつけ、強制的に速度を落とさせるなどの手法があるのでは？視覚化は何の役にも立たないと思う。住宅地の抜け道を暴走していく車両は非常に多い。うちの住所を見て、ここの道路の現状を把握してほしい。近くに公園、中学校、小学校があるが、速度を守らず、レーンを跨いで走って行く車が後を絶たない。本当に事故を防ぎたいのであれば、ゾーン30指定など有効な対策はもっとあるはず。小手先で「やりました！」感を出すのではなく、もっと考えて下さい。
単にカラー化するだけでなく、速度制限やスクールゾーン、時間帯通行禁止、駐車禁止などの道路規制と合わせて実施し、警察の協力を得ながら、違反取り締まりの強化と合わせて、実質的な安全を図って行かなければ、運転者の急いでからとかめんどくさいとか言う、身勝手な違反心理を防止出来ない。
通学路での事故がどの程度あるのでしょうか。車に限らず、自転車も乱暴運転が多い。ルールも守らない非常識な運転手がカラー化により注意するようになるとはあまり思えません。他に減速させる工夫をしているところ(錯覚を活用するとか)を参考にするという方法もあると思います。
カラー化も良いが、自動車自体の通行制限をもっと拡大するよう、各道路の実状を見直し、対応を図っていききたい。最近の事故を見聞きするたびに、「人」の保護と優先を第一にルール化していく必要があると思う。道路にポールを立てたり、凹凸を敷設するなど必要でしょう。
カラー化することで認識する人は事故を起こすことは少ない、認識しない人にはあまり効果は無いと思います。一番良いのはガードレール等だと思うが段差を設けるなど具体的に減速せざる終えない状況にするしか無いのではないかな。
見たことがないのでピンとこないが分かりやすくした上で車やバイクの乗り入れを減らす。不審者が寄らないようにするなどの対策が必要と考えます。カラー化して終わりでは余計に危ない道になりそうな気がします。
雨天、積雪等、悪天候時でも通学路である事が路面カラーや標識以外でもはっきりと認識でき、かつ道路の利用者が留意できるような視覚的効果をもたらす何らかの形があるとなお良いと思います。
通学路は単にカラー化だけではなく、車がスピードを出せないような工夫が必要。本日も八街で集団登校をしていた小学生の列にトラックが突っ込んだ。

先日も児童に車が突っ込んだニュースがでていました。欲をいえば、道に起伏(凸凹)をつけて車の速度を抑えるタイプも検討いただきたい。
カラー化と平行して、車両のスピードを抑制する効果の工作物(S字道路・交差点前に立体視塗装、反射を含んだ路面・・・)の工事など。
最近、通学中の児童の悲惨な自己が目立つが、カラーだけでなく、突起等でドライバーに注意喚起することはできないか、と思います。
カラー化促進も良いが、自動車のスピードを抑制するじぐざくのガードレール、道路に段差を作るなど工作も必要かと思う。
通学路カラー化とともに、細い道で抜け道になってる生活道路は朝夕を自動車だけ居住者以外原則通行禁止にしてほしい。
カラー化も、道路標識のように「交通法」に明記して、通行や駐車を制限や禁止をすることも同時に検討して下さい。
歩道が無くて危険だからカラー化するのだろうけれど、ハンプで通行する自動車の速度を抑制させた方が良いと思う。
道路が狭い箇所は、まず拡幅、できない場合は道路に凹凸を作るなど、車の速度を落とす方策が第1ではないか。
平面的カラー化だけで事足りりとするだけでなく、段差のある歩道を十分確保する必要がある。
カラー化より、生活道路のバンプ設置や朝夕通行止看板の設置の方が有効と感じます。
カラー化も必要だが、通学時に一方通行にするなどの車両規制を実施すべきである。
車の事故が増えている現状から、車両規制が必要ではないか、と思います。
自動車通行に制限させる。
・ 歩行者道路の整備
通学路の「緑」は理解していますが、自転車走行でもこの「緑」を利用します。ただその幅(範囲)があまりにも短い(小さい)のが多いので、結局、車と接触寸前の利用となります。提案ですが車道を一車線軌道にして、人に優しく「歩道」の幅を確保することはできないのでしょうか。
カラー化で、ここは通学路か気をつけようと考えられる人はそもそも問題ない気がします。カラー化でも気付かない人が危険なのであって…できれば歩道の柵や広さの確保のほうが…ああでも土地や予算的なことを考えるとカラー化のほうが安価で早いか、うーんうーん…
通学路のカラー化をしても、安全上の問題解決にはなっていないと思う。登下校中の事故が相次ぎ、道路が狭いのは理解できるが、歩道と車道を完全に分けないと子供達はいつまでも危険にさらされたまま。
上記質問の他の安全設備が何なのかわからないので優先してよいのか、わからない。カラー化より歩道を作った方がいい。北海道から引っ越してきて、歩道の無さ、狭さに驚き大変危なく感じます。
通学路のカラー化も良いが広い歩道で歩行者と自転車が通行する場所がきちんと分かるようにすべきである。子供達が道幅一杯に並んで歩いているのは危険です。
総合的な安全施設整備、例えば、歩道の整備、自転車用レーンの設置、スクールゾーンの時間帯進入禁止・一方通行化等とあわせて行うほうがいいと思います。
歩道確保、ガードレール敷設、信号機整備のほうが優先すべきと考える。
カラー化より歩道化がさきでしょう。道路の整備をはかるべきです。
カラー化より、やはり歩道を作ってほしい。
歩道の整備も遅れないように望みます。

・違反車両の取り締まり強化

生徒はルールを守って通学しているが、二輪車や四輪車はルールを守らないことが多い。違反者のペナルティを厳しくすることが第一でしょう。

カラー化しても守らないと意味がないので、警察による巡回を徹底し、違反した人にはきちんと注意をしていかないといけない。

事故がなくなるのは大切なことだと思いますが速度超過の車が多いと思うので取締りを強化して欲しい。

カラー化している場所に駐車している車が多い。取り締まりを強化するべきでは。

カラー化とともに、取り締まりを強化していただきたいです。

運転者のルール違反をもっと取り締まれ。

・地域での見守り

安全面考えると、通常の人には気をつけなければという点でとてもいいのですが、色で示すことによってこの間のような脅迫文の事件の対象ともなるので、引き続き地域の日や車の侵入制限、時間帯だけ障害物を置く等、車が通れないようにしてもよいかと思います。

通学路をカラーにして意味が薄い気がします。その予算をシルバー人材など人的要因で巡回等をした方が注意できるのではないのでしょうか。最近の自転車専用道路と一緒にただ色分けしているだけで効果もうすいようですし。

通学路は必ずしも確保されてる状態にないと感じる。カラー化の促進と併せ地域のボランティア活動が必要だと思う。

セーフティーウォッチャーを13年間しておりますが、私の地域は通学路は安全になっております。

カラー化した通学路でも車の交通量が多いので、大人が交通整理等で見守ることが大事だと思う。

あまりイメージがわからないので必要性が感じられない。人が立ってる方が効果がありそう。

小中学生の通学安全のために、カラー化と指導員やボランティアの充実化を図る。

・電柱の地中化

電柱の地中化を先にすればよい。地中化によりかなり車の通り方も変わってくる。ただ、地中化には多額の費用が必要なことは理解している。有線順位を決め、徐々に取り組むことを望む。また、当面の方策として、2車線による対面通行をなるべくなくし、1車線化を進めることできる。

カラーも必要だが、道路そのものを整備すること。また車優先の道路整備でなく、歩行者、自転車のための道路整備を行うこと。そのためには電柱地下対策を防災対策とともに推進すること。

電柱の地中化や学校周辺の細街路へのスピードバンプ設置を合わせ検討下さい。

(その他のご意見: 33件)

それなりに効果があるからやっているのだと思うが、線を引いただけであっても区別はつくはずなので、それを守るかどうかは運転している人次第だし、見慣れたら効果が無くなっていくような気がする。道路の拡張などは果てしない時間と費用がかかるので、やむをえないことだとわかっているが、やはり歩行者と車両の通行空間を別にするのが根本的な解決策だと思う

カラー化よりも信号をつけるとか防犯カメラ下にある通報ボタンを直すなどが先だと思う。海浜幕張公園にある防犯カメラはいつも壊れており、こどもが夜通るときに不安になります。ポケモンGOの影響で公園に携帯をもってたむろする人が増えベイタウンに路駐も増えています。そちらの方の対策が先ではないでしょうか。

通学路は認識不足だが自転車レーンに承知している。識別とかカラー化自体は悪くはないが道路、通路そのものから原点に帰って見直しすべきではないかと思っている。メイン道路は概ね良いが中には歩道なり自転車なりが安全かは問題もあり通路に対しては応急的な処置と恒久対策の要否に取り組んで貰いたいと思っている。
カラー化も必要だが、とにかく市道を整備してほしい。検見川稲毛区画整理で通学路で大変狭い箇所がいくつかあるので、(検見川五丁目)早急に道路を広げてほしい。カラー化だけでは不十分で怖いです。
近くの住民の声を聴き、車優先しないで児童優先とする。信号避けるため細い道をスピード出して走る車や、歩行者が横に避けなければ危ない道路はまだある。
通学路の状況は1つ1つ違いが大きく、個別の対応が必要。地域や学校の話をよく聞き、道路施設の整備と並行して実施するべきものが多いように感じる。
道路がカラーになっていても、通学路だというように認識できる気があまりしないです。看板とかのほうがりやすいのではないのでしょうか。
通学路だから(カラー化しているから)この場所ではどうするのか、というルール標示を徹底してほしい。特に自転車に関すること。
通学路のカラー化すら出来ない狭くて危ない通学路がたくさんある。それについて千葉市はどう思っているのか逆に聞きたいです。
通学路も良いが、無駄な縁石やガードレールを撤去し、歩道、自転車道を広く作った方が安全な気がする。
最近の子供が巻き込まれる事故のニュースを見ると、カラー化では必ずしも防げないのだから、と感じる。
道路幅が狭い道は、よく検討した方が良いと思います。かえって危険度が高くなる場合もあると思います。
通学路などは子供達を守るためにも、しっかり整えて子供も大人も守れるようにしてほしいです。
6年以上かかるようでは、これから入学する予定ですが、改善されぬまま卒業してしまいます。
意義が分からない。予算の無駄では？道幅が狭い場所の拡張など抜本的解決を優先すべき。
カラー化を早く進めて頂くとともに、通学路の歩車分離信号などの導入を進めて欲しい。
カラー化するよりも、自転車専用道路を作って歩道を走らせないようにして欲しい。
カラー化することの効果、周知の費用対効果を含めて検討する必要があると考える
まだ子供が未就学なため、このような取り組みがされていることを知らなかった。
カラー化だけで安全対策になるとは思えない。他の安全施策整備を優先すべき。
塗装には金がかかり、時間もかかる。人工芝を張り付けた方が安いのでは？
より通学路、どの学校の通学区域なのかわかるような表示をお願いします。
日本の道路は狭すぎる。子供が安全に通学できるように整備すべきだ。
信号機や横断歩道の整備が先決問題だと思う。必要な所がない。
カラー化による安全対策の効果についての検証が必要と感じる。
自転車登校している学生にも自転車専用レーンを少し広げる。
対象となる子供が近在に少ないためわからない。

気にしていなかったので気にしてみています。
高齢者事故も減らせる工夫をしてほしい。
やっていること自体を知りませんでした。
カラー化を見ていないので、判断が？
カラー化以外に対策が必要。
子供優先で考えてほしい。

Q:24 平和啓発事業を行うにあたり、どのような事業があったらよいと思いますか。また、戦争を知らない若い世代に戦争の悲惨さや平和の大切さを伝えるためには、どのような啓発方法が効果的か、考えをお聞かせください。

【有効回答数：327件】

(学校での学習に関するご意見：132件)

私は、北九州で育ちましたが、原爆投下の日には必ずいずれかが登校日で、投下時刻の黙祷と平和教育が行われていました。平和教育とはすなわち、戦争の悲惨さと原爆の悲惨さ、二度と戦争を起こしてはいけないことや原爆や原子力の恐ろしさについてです。関東地区ではそのようなことは過去も現在も行われていないと聞きます。ぜひ、行うべきです。昨今の風潮を鑑みるに、日本を賞賛する動きと合わせて、戦闘地域でのPKO活動などが国民の手の届かないところで開始されようとしています。どのような時代も、一番苦難を受けるのは庶民です。どうしたら、戦争にならないように、そして、現在、戦闘中の地域や内戦状態の地域が減るかを考える教育が必要です。自国の利益のためには争いも辞さない、という考えは危険です。次の世代も、その次の世代も、命を危険にさらす日常が生まれないようにしなければいけません。

学校の教科書で取り上げられるのはやはり広島・長崎が多くなってしまうので、地元のここ、「千葉」で実際に起きていた話だ、となると途端に身近なものになると思います。今年の夏には私も市内に来てまだ歴史が浅いこともあり、子どもたち対象の行った読み聞かせでは、夏には名作「そしてトンキーも死んだ」や千葉県のお話のうち、千葉市内のもの（SLの幽霊ものなどの戦争の話）を実際に読んだりしました。このように、ボランティアなどで読み聞かせ、人形劇、紙芝居などをされている方などにも働きかけて、毎年夏前～8月中には地元の戦争話を取り入れた子ども向けのものからスタートしても効果的かもしれないと思います。ただ、幼い子は感受性がかなり豊かなので、あらかじめ小さな子には保護者の方に演目をお伝えしたほうがいいのかもかもしれませんが。

秋田の大学に通う娘が、今年の夏、広島で開催された広島市立大学と「平和首長会議」主催の講義に参加し、広島平和記念式典に参列しました。秋田市から参加募集の案内があり、補助をいただき、参加させて戴いたそうです。その後、秋田の平和式典にも参列したそうです。その中で、広島市や秋田市が小学校にも平和に関する活動が盛り込まれ式典に参加していることを知りました。大切なのは経験者のみがそれを知ることでなく、いかに伝えるかです。千葉市は小中学校、高校、大学に対しいった活動や支援はされていたのでしょうか？また、平和式典はあるのでしょうか。

戦争被害のビデオや写真を見たり、被害者のお話を聞く会を総合授業などの機会に開く。その際には、ただ日本が受けた被害はもちろんだが、東南アジアや東アジアの人々に日本が加えた被害も学ばせてはどうでしょうか。被害者としてこのような辛い経験はしたくないという思いとともに、加害者としての一種の罪悪感のようなものも痛感することで、自分も周りの人も傷つける戦争はいけない、という思いが芽生えやすいのではないのでしょうか。なかなか難しいと思いますが。

特に子供たちに対して、悲惨さだけではなく、なぜ戦争が起きるのか、それを未然に防ぐためには、というテーマで本人たちにディスカッションをさせるべき。悲惨さを認識していてもその原因や防止柵を知らなくてはならないと思います。「戦争は良くないよね」だけでは「戦争はいやだなあ」という認識で止まってしまうし成長がない。根本を見ることが大事。例として、なぜ第二次世界大戦が始まったのかなど。なぜ日本が大戦に参加したのか、軍国主義とは何かなど。

戦争について知ることは、「知るべき」と考えている人にとっても気の重いこと。自発性に期待しては伝わらない。特定世代のすべてに伝えられる場合は学校しか無いと思う。加害に少しでも触れると「自虐だ」と潰しにかかる勢力が力を増している。加害の面も被害の面も客観化して(く日本)とく自分)をごっちゃにしない!)事実を正確に伝えていけるといい。図書館で戦争に関する特集棚をあまり見ない気がするが、避けているのか？
被爆国にもかかわら核保有国の保護の下にある矛盾を伝えること。平和憲法を持ちながら戦争に加担する矛盾を伝えること。福島原発事故にもかかわらず原発が推進される矛盾を伝えること。そうしたことが矛盾であるという判断力を身につけさせる学校教育が大事。現実の矛盾を若い人が意識せずに平和の大切さは理解されないし、伝えられないので。
千葉に引っ越してきて、子供が小学校へ通うようになり、不思議だったのが、夏に平和学習を行わないことでした。自分は九州出身ですが、8月6日は登校日で広島原爆の平和学習が行われていました。若い世代への啓発は、上記の方法がよいのではないのでしょうか。語り部の方の生の声が聞ける時間は、そんなに長くはないですよ。
学校では、真実の正しい戦争の歴史をしっかりと詳しく教える。講座や講演会等で、戦争や歴史に詳しい専門家や戦争体験者に戦争の真実の歴史や戦争の悲惨さを講演してもらい、戦争の無い平和な社会を作ることの重要性を訴え、啓発する。戦争や平和に関するパンフレットを作成し、各戸ポスティングで市民に配布する。
市内の学校に巡回で一定期間パネルなどを展示して保護者にも目に触れる機会を作ると親子で平和について考えられる。学校経由だと、何となく友人を誘い足を運ぶと思う。一般の方へも、身分証明できるものを持参の上(防犯上)、時間を決めて公開したら、地元の学校のこともわかるし、平和の啓発活動にもなる。
小学生には、アニメ上映鑑賞がわかりやすいと思う。中高生などは、世界で起きている現状の把握と、日本の立場など、掘り下げて研究、討論できると思う。いずれも、学校での教育が重要と思う。さらに、メッセなどで展示イベントをすると、家族ぐるみ参加できる。
学校の授業で、年に一回交通安全運動をやるように、平和に関する運動をしたらどうか。毎年時期になると、はだしのげんや火垂るの墓のビデオを見せる。小学生にアプローチしたほうが中学生に見せるより茶化したりしないので効果ありそう。
千葉市の学校であれば、やはり学校の授業で「千葉空襲」に特化した時間を設ける必要は有ると思います。東京大空襲や広島・長崎の原爆投下ではなく、身近な場所で起きているだけに受け取り側にも意識として残る物は大きいと感じますし。
一番効果があるのは学校の授業の一環で学習させる事。社会や日本史という授業でなく近現代史として、平和教育として地域教育として別個に授業すべきである。通常の授業では近現代史までおわらないしやっても深くはやらない。
戦争を体験した方々のところへ話を聞きに行ったり、当時の写真やジオラマなど実際に見て確認できるような校外学習を必修化するなど。教室や体育館などでの映像学習は、かなりの子供が寝ているので良くないと思います。
小、中、高での授業の中でもっと積極的に、日本が起こした戦争について事実をありのまま伝えて、そのうえで平和の尊さや命の大切さを伝える教育が重要だと思います。今の教育はこの点について臆病すぎませんか。
「戦争反対」だけを唱えるのではなく、どうしたら戦争にならないか、他国ともWin-Winの関係を築き上げていくかのセミナーなどを公立学校では開催してほしい。教育委員会なども含め検討を期待します。
義務教育のシラバスに、地域独自のカリキュラムを導入し、例えば生活科・歴史などの分野にて千葉にゆかりのある内容を学ぶ機会を作ることによって、戦争と平和についてより身近に感じることもあると思う。
やはり学校を通しての働きかけが一番と思います。我が家の小学生2人をみていると出張講話などはとても影響があるように思えます。実際に戦争経験した人からのお話は大いに参考になることと思います。
小さいころからの教育が必要だと思う。(市をあげ、保育園や学校等)興味がある人だけでなく無差別に年代にあわせた悲惨さを伝えるべきだと思う。二度と繰り返さないよう啓発お願い致します。

私自身も両親から戦争の悲惨さや恐怖を聞いたに過ぎず、子供たちには全くそれらを伝えておりません。やはり学校の授業で映像を交えて悲惨さ・恐怖・残虐さをミッチリ伝えるしかないと思います。
学校等で体験者の講演会まで大きくなくてもいいので、語り部の会みたいなのでも聞けるといいと思います。もう高齢化でそういう人も少なくなっているのも映画上映でもいいと思います。
地域住民との自然な集まりの中で一緒に語り聞きあうことが重要ですが、学校やコミュニティセンター単位の地域性が効果があるのでしょうか？地域住民との日頃の交流が大切になります。
戦争を経験された方が、直接学校等で体験話を聞く機会があるといいと思う。私の母は戦争体験者で子供のころに母から聞いた戦争の話は今でも忘れられない貴重な財産になっています。
視覚に訴えること、聴覚に訴えることを年齢等を考慮して併せて行っていくこと、あるいは社会科などの時間で自分たちで調べる学習の機会を与えたりすることなどが必要であると思う。
無料の映画上映(はだしのゲンやほたるの墓など)。小学校などで戦争を体験した方々のお話を聞くなど。(小さいころに聞き、考えさせられた内容は記憶に残りやすいと思うので)
小学5・6年生の校外学習に戦跡めぐりを組み込んだらいかがでしょうか。親も校外学習があると「それは何？」と思い、一緒に調べたりするので親子に効果があると思います。
今の子供達は、戦争の事をさっと習うが具体的にはわからないと思う。なるべく体験した方々の話など聞けたらもっと、何故いけないのか、などもっとわかるかもと思います。
学校での教育。図書館での展示(現在も行われていることは知っているが、継続的かつ興味を持ちやすいような展示)。世代を超えて参加しやすいようなイベント。
市内の小中学校や公民館などで、例えば敬老祝賀会や、地域のイベントが開催されるときに、上記の啓発事業の中で可能なメニューを実施してはどうですか。
国や市が認める公的な平和団体(戦争を体験された方がいるところ)が学校を訪問して、授業の一貫で子供たちに映像や資料を見せて一緒に考えてもらう。
戦争を体験している方々が年々減ってきているので撮影し編集し小学校・中学校等の授業でみる。もしくは本人をが学校へ招待して説明会をする。
学校で教えることが一番だと思います。私自身は、新聞、テレビで、身に付けましたが。ローカルなことまでは、情報は得にくいので。
学校で教えるのが良い。但し、史実を曲げることなく正しく伝える。なぜ戦争が起こり、国民が悲惨な目にあったのか事実を伝える。
体験された方、もしくは間近で伝え聞いた方々に学校へお越しいただき、子ども、保護者、先生方に直接お話ししたいです。
公民館などで興味のある人を集めて開催するのではなく、小学校や中学校で定期的な開催を行うのが効果的ではないかと考えます。
平和啓発事業として、小中学校で戦争放棄の憲法をよく知らしめる教育カリキュラムを義務づける、条例などが必要だと思います。
学校にゆだねることはよくないと思うが道徳の時間等で平和を考える時間を必須にするなど教育の場で考えられたらと思う。
義務教育の中で自分の住んでいる地域に戦争などに関するものなどがあるのか、実際に見学するなどの体験があればと思う。
学校や市の施設で、積極的に展示をしたり、講演をしたら良いと思います。特に子供たちに伝えることが大切だと思います。
これからなにが大切かきちんと教育をしていかなければいけないとおもうので、学校などでももっと教えてほしい。
小学校の授業で子供達に知ってもらおうと思う。高学年くらいの子供なら、平和の大切さを感じてもらえると思う。

体験談をお話して下さる方がいらしたら、各区の学校等で住民参加型で講習会を開催しても良いのでは。
改めてどこかに行くのは難しいと思うので学校で講演をしたり、親子で話を聞く機会があればいいと思う。
小学校での授業が大切だと思います。私も小学校の授業で聞いた事を40年たった今も忘れていません。
学校授業で取り入れる。学校の野外授業に戦跡巡り等を取り入れる。戦争体験者の話を聞く授業を行う。
被災者の体験談などを授業で行うなど、また生徒の感想を集めるなど、若者が能動的に動く機会を作る。
1・学校の授業で取り上げる。2・市政だよりで継続的に啓発する。(啓発事業の内容を取り上げる)
社会科見学等で資料や施設を見学する。学校で強制的に行わないと若い世代は見向きもしないのでは。
そもそも市が、このような事をする必要があるのでしょうか？教育の場で行うことだと思います。
学校の文化祭などでの特別展により、生徒や保護者、一般参加者の目に触れやすくなると思う。
保育所や学校から子供たちに伝える。身近な戦跡を子供と親世代で巡るツアー(解説付きで)。
男の子なら戦闘機から興味を持つと思う。学校で戦争映画を観賞する時間を設けたらどうか。
小学校などで体験者の話を聞くなど子供のころから話して聴かせることが大切だと考えます。
千葉市から戦争に行かれた人数やまつわる施設の見学を小学生の社会見学をしたら良い。
小学校の高学年に課外活動という形で戦跡を巡ったり、戦争のことを考える機会を持つ。
学校でそういう授業や行事を組み、小さい頃から歴史に触れさせる。興味を持たせる。
各学校へ出向き、戦争の悲惨なできごとを、紙芝居で、表現するのはどうでしょうか。
学校できちんと近代史を教えるべし。特に高等学校(市よりも県になってしまうが)。
戦争体験者の手記、エッセイ、詩集などを編集し、学校で閲覧できるように配布する。
学校で全校生徒を集め、ビデオを見たり、お話を聞いたりして考える機会をもうける。
パンフレットやビデオを活用し、学校の授業で継続的に教えるのが効果的だと思う。
保護者も含めて、学校などで子供たちとそのような話を聞く機会をもらえるといい。
年々減ってきている戦争経験者のお話を聞く機会を学校教育の中で取り入れる。
戦跡ウォーキングの場合、学校行事等で社会科見学、遠足等に組み込めるとよい。
小、中、高、全ての子どもを対象に年に1度、戦争の授業があるといいと思う。
小学校、中学校で空襲のあったことなど教えるべき。親子で聞くのもいいかも。
学校の授業で伝えればよい。宿題で家族と話し合いをする時間を作ればよい。
小・中学校に写真パネルの巡回貸出展示を行い感想文等の募集で啓蒙する。

市内の小中学校で、ホームルームなどで伝えてもらえると良いと思います。
子供たちには学校で教えたり、お年寄りとのコミュニケーションが大切。
学校で話を聞く機会があるといい。小さい頃から触れておくことが大事。
実際に戦争を体験した人を小学校や中学校に呼んで、戦争の話を聞く。
学校の授業でビデオ鑑賞や体験談などに触れる機会を継続的に設ける。
平和アニメの学校での上映、テレビでの上映。学校での体験談の伝達。
小学校中学校で時間を設けて話す。子供たちにも話し合ってもらう。
学校授業の充実を図るとともに終戦記念日を実効ある日にすること。
学校の全体集会などで伝えていく機会を設けてもいいと思います。
学校の給食に、戦時中又は戦後の食糧難の時の献立を再現する。
小学校でも定期的に講演をする。小6を対象に毎年やるなど。
学校でビジュアルな資料を直接見せて悲惨な状況を教える。
現在のシリア・イラクなど中東の状況などを学校で教える。
中学や高校の授業で取り入れることはできないでしょうか？
小中高で、クラスごとにビデオ学習などあればと思います。
市内の小中学校の授業に取り入れる。もしくは講演する。
全ての教育機関で平和活動に関する体験学習の義務化。
学校の授業、休日学校で子供と親、近所への上映会。
学校の授業等で教えながら戦跡めぐりを実施する。
在学中に広島を訪問することを授業に取り入れる。
学校で地域の方が教えてくれる機会があるといい。
学校でもきちんと学習したほうがよいと思います。
教科書に載せる。郊外学習で、実際に見に行く。
学校の授業で近代史を時間をかけて教えていく。
小学校や幼稚園、放課後教室への出前授業。
授業や社会科見学に戦績巡りを取り入れる。
学校での授業、存命者による講演など。
学校授業に取り入れ。HPの見直し。

学校の授業のカリキュラムに加える。
学校で強制的に戦時の話を聞かせる。
学校の授業時間内に説明するなど…。
学校などで知らせる。イベント等…。
学校の授業等で子ども達に伝える。
小中学校での講習や、駅での展示。
学校の授業で教えたほうがよい。
学校にパンフレット配布する。
学校の授業などに取り入れる。
学校教育、電車広告など啓蒙。
小学校の時業に教えるべき。
DVD等を学校で上映する。
小中学校の授業での啓発。
学校行事に組み込むべき。
学校で講話会などを開く。
授業で取り上げればよい。
学校にポスターを貼る。
学校の授業に組み込む。
学校の授業で実施する。
学校の授業での義務化。
学校への語り部派遣。
学校で定期的な講演。
学校でやってほしい。
学校で千羽鶴をおる。
学校などに出前授業。
学校行事で史跡巡り。
授業参観時の発表。
道徳の時間の活用。

学校での催しもの。
小学校からの教育。
義務教育での学習。
学校行事で見学。
学校での教育。
学校教育。
学校教育。

(戦争体験者による講演などに関するご意見：40件)

私ははだしのゲンを小学生の頃読んでいたのでそれなりに知っていると思ってたのですが、所詮他人事だったんだなと衝撃を受けたのは、知人の祖母の体験を、その知人から聞かされた時です。その知人を通して、リアルな出来事、実際にあった出来事、知人と私が繋がってるからこそそのリアルをその時にようやく感じました。自分と繋がりがあると、インパクトっていうか違います。資料館などで展示されてるものを見ても、頭では理解できますが、自分との繋がりがないので、ふーんで終わるんですよね。でもその場に、それは私の物です、と所有者、体験者が登場して自分に話しかけてきたなら、自分と繋がって考えられるんです。歴史が一気にリアルに変わるんですよ。そういう、歴史が、自分の人生との繋がりを感じられるような啓発方法があれば…私が知りたい～。
若い世代(小中学生)に対する平和啓発事業は、紛争地域に国籍をもつ同い年または年下の方をゲストスピーカーに招き、経験や体験、日本の平素平和な状況をどう感じるか語ってもらうような事業はどうでしょうか。既存の平和啓発事業は、大変恐縮な表現になりますが、「ストーリーが見えてしまっている」と感じています。「悲惨だ」「繰り返してはならない」etc…。小中学生もその辺の模範解答を察しています。現在の世界の政治、経済、社会、宗教が複雑に交差して齎している、非日常・非平和の現実について、小中学生が自分の頭で悩み、考えさせるような機会を設けることができれば大変効果的な啓発活動につながるのではないのでしょうか。
郷土資料館にも戦争の展示があり、子どもも興味深く見ている。常設の展示を増やすなど、今ある施設で、工夫して戦争の恐ろしさを伝えて欲しい。また、私の勤務先でだいぶ戦争体験をされた方々が少なくなってきたので、後世に伝えるため、ビデオにインタビューを残そうかという話が出ている。体験者の話をしっかり残すことも大事だと思う。
今現在の後期高齢者層の高齢者が生存している間に自分も含めて彼等に老人クラブ等の活動の中で戦争体験や平和運動などの話を若い人達に伝える活動を奨励したい。グランドゴルフや輪投げや認知症予防などに興じているだけでは勿体ない。もっと後続世代の将来を展望するような意識の向上を期待したい。これが一番の認知症予防になるだろう。
祖母が空襲の碑をたてた発案者の一人です。平素から小学校などに戦争の話をしに行っていますがもう高齢なのであと何年できるかわかりません。戦争経験者の話を映像にまとめる、個人が持っている写真などを寄贈してもらって集めるなどの作業をこの世代がいなくなる前にもっとすすめてほしいと思います。
太平洋戦争だけでなく、世界各地で現在起きている戦争、内戦、紛争の当事者や被害者のお話を聞く機会があるとよいと思います。DVDでの太平洋戦争の経験を聞くのとあわせて、生の声を聞くことでより平和の大切さ戦争の悲惨さが身近なものとして伝わるかと思います。
戦争体験を語り継ぐこと、戦争の残酷さ・非人道的な面など忘れていたいことや見たくないものも折に触れ戦争を知らない人に見せること、など。戦後70年経って、直接の戦争体験者が少なくなった今だからこそ、戦争体験を継承する人やシステムの構築が必要と感じます。
千葉市で育っていないので歴史はわからないが、自身の経験では、やはり戦争体験者からの話が一番身にしみた。私は沖縄平和ツアーという、とある企画で戦争や基地に関して学ぶ機会を得られたが、そのような機会を作っていく活動が重要だと思う。

どんどん減って行く、「語り部」を積極的に小学校や中学校に派遣して若い世代に当時の話をしてもらうことが大切だと思う。千葉に残る、戦争のモニュメントにも遠足、社会科見学で訪れて、実物を見せることも大事だと思う。
手遅れかもしれないが、体験者に悲惨さを語っていただくことに勝る効果はないと思います。私は、親の体験談に非常に感謝しております。あとは、体験者が残された手記、遺品などを直接目にすることも効果的だと思います。
戦争を体験したおじいちゃんおばあちゃんに語り部になっていただけると一番いいと思いますが、そのような方が年々少なくなっているのでも ぜひビデオなどに撮って学校などで放映するといいと思います。
「アーツステーションちば」に音楽家や舞踏家等だけでなく、戦争体験談の出来る語りべさんや平和啓蒙活動をしている劇団、団体を増やすのも一つの案だと思います。
空襲等の戦争体験者の体験談を市内在住の多くの一人でも、高齢者から後世に伝えていくべき。各学校での体験談を学習に取り入れていった方が、良いのでは…。
当時を知る人がいるのならば具体的な話を記録したり語り部になってもらうなどできたらいいと思う。当時を知る人がいなくなる前にできることがあると思う。
地区図書館での語り部活動等、高齢者と若い世代をつなぎつつ。映像も活用して、現在の戦争や難民問題も交えながら平和全体について考えてはどうでしょうか？
体験談を語り継いだり、手記の読み聞かせなどができる人増やす事業を市が行い、講演会や語り継ぐ会を市民が小さく細かく開催することを市が支援する。
戦争を実際に知っている方は、もうずいぶん高齢で年々少なくなっています。直接お話を伺う場がもっとたくさんあったら良いと思っています。
戦争経験者に直接語っていただける機会があるといいと思う。小中学校にそんな機会があるといい。今の子供たちには、直接体験が効果的。必要。
戦争の時の写真や体験者の話の触れる機会を作るといいと思う。新聞の折り込みに入っていたら必ず目にすると思う。
戦時中を知っている人がいなくなってくるので、今のうちに沢山話を聞ける場を設けてほしい。
近所、親戚内で体験された方がいれば、直接、家族や親戚で話して語り継ぐ習慣をつける。
戦争を体験された方の話を聞く。当時の写真を見せる。ショッキングだが、為になる。
戦争を経験した方々から生の声を聞かせて悲惨さを伝えるのが一番伝わると思う。
今現在行われている戦争を体験した国の人の話を聞く。(難民の人など)
実際に戦争で悲惨な経験をされた方の話を聴くのが最も心に響くと思う。
戦争経験者の話を聞く会を開催することがよいのではないかと思います。
実体験を文字や映像にして啓発するのが当たり前だが一番かな？
同じ年代の戦争体験の様子、を知らせる、対話、疑似体験。
経験した世代がお元気なうちに語り部になってもらう。
戦争体験者の話を新聞の折り込みにまぜて欲しい。
高齢者の戦時中の体験談等を聞く会をもうける。
当時のことを知っている人に話をきく。

子供も参加できる講演会を行う。
講演会、シンポジウム、など。
体験談の収集、記録、伝え。
体験者による講演など。
体験者が伝えること。
体験した人との対話。
経験者の講演活動。
経験者の講演会。

(イベントに合わせた啓発に関するご意見：19件)

年寄りや孫世代が集える催しを企画する。演歌や民謡では孫は来ないし、ラップやロックでは年寄りは集まらない。説教臭い講演も集客力は少ない。お笑い演芸的なものや、お宝鑑定的な年齢関係なく楽しめる催しで、所々に戦争体験や世界の戦争地域の実態などを織り交ぜて、自然と意識させて行くなど考えてはどうか。
戦争体験者も高齢化し、体験を伝えられる方が少なくなり、難しくなると思われます。模擬体験でも出来る様な場があれば幾らかでも実感されるかも知れませんが・・・。
七夕にイベントを開催する。七夕は短冊に加え、最近ではライトダウンもされるため、夜に例えばキャンドルイベントや精霊流しなど厳かなイベントを定着させる。
イベントをして人を集めて、平和啓発事業に絡んだクイズなどをし、正解者に景品をあげたりする。
企業と協力しショッピングモール等大きな施設でイベントとしてパネル等を見られるようにする。
若者対象のフォーラムなどを開催。学校で戦争体験者の話を聞いたり、史跡を見学など。
コンサートや講演会、映画上映会との組み合わせが良いと考えます。
ビデオ・体験施設を「他の」イベントで用意・紹介する。
子供や子供連れが目を惹くようなイベントとして実施。
スポーツのイベント時にイベント会場でPRしていく。
区民まつりなど楽しめる行事にも出てはどうでしょう。
固くやらない。イベントの一環としてはどうか？
気軽に行けるイベントなどで啓蒙した方が良い。
市民まつり等のイベントでブースを開設する。
若い世代が集まるイベントでの広報が必要。
子供にするイベントが大事だと思う。
イベントとしてチーバくんの参加。

実体験ができる催し。

疑似体験。

(公共施設での啓発に関するご意見：17件)

検見川送信所を展示や講演会を行う平和啓発事業のシンボルとして利用できたら良いと思う。第九演奏が行われる際に、初めての第九演奏に関する映画『バルトの楽園(がくえん)』上映と第九演奏を結び付けるようにする。公民館で空襲、戦跡に関する講義を実施する。稲毛の愛新覚羅溥傑氏の住宅跡を市政だよりで取り上げる。

子供の頃、近くの公民館で空襲の写真展と歌を教わった。子供達に伝えよう。何が生きる....みたいな歌。今も心に残ってる。

公民館、区役所などのギャラリーでパネル、写真の展示を大々的に展示するとか幕張メッセで展示してもいいと思います。

もっと市民の目に付くようパンフレットを公民館や図書館などに常備しておくの良いのではないかな。

動物公園など、子供の目に触れるところで、像をたてる、パネルを設置する。そうすると親も見ると。

公民館などで過去の戦争のことをまとめた再現ビデオや話を体験して子供たちにも伝えたい。

戦争体験者、空襲経験者の話を公民館等で聞く機会(座談会でもいい)を作してほしい。

刺激の少ない絵本などを学校、公民館、図書館などの子供の目に触れる所に展示する。

戦争を描いた映画や書籍を図書館に揃え、身近にすぐに手に触れられるようにする。

記念館等で、啓蒙活動を行い、過去の姿を見て、感じるのがよい。

図書室でのお話し会など、気軽に立ち寄れる場所で。

地域公民館などで展示会を開催してほしい。

公民館やコミュニティセンターなどで展示。

各公民館等にて、写真展等の啓発運動を。

中央公園などでイベントをする。

図書館や市役所での掲示など。

公共の施設でのパネル展。

(他の啓発手段に関するご意見：67件)

・映画やVRなどの活用

我々の世代は戦争関連映画(長崎の鐘)等を小学校から全校生徒で観た経験があり、関連して先生から話があり、生徒の感想等聞かれ話し合いの場がありました。現在、政権が嫌って教育の場から遠ざけてますね。教科書もしかり.....そんな中で平和啓発をどうされますか？残念ながら今の若者は遠ざけられた結果ですね！唯一の被爆国は経過も含めてみんなが知り、絶対に再発防止すべき事柄です。直ぐ出来る事は家庭からですね！以上。

過去の戦争を学ぶのが大事なのはわかるが、現在進行形で戦禍に見舞われている地域も世界にはたくさんあるわけだから、現に起きている被害について生々しい映像や肉声を見せれば若い人にも伝わりやすいのではないかなと思う。

DVD・ビデオについては、貸出しだけでなく、廉価販売も行ってはどうか。価格にもよるが、貸借の手間より購入を希望する者も結構いると考える。
まだ字がスラスラと読めない子供たちでも、アニメ化したものであれば興味を持つかもしれません。
わかりやすいようにドラマやアニメなどで伝えて行くのが良いと思います。
映画等見てすぐわかる媒体を使用するのが、わかりやすく説得力がある。
若い人であれば実話をもとにしたアニメ映画。大人の場合は映画。
視覚重視で「映像」「ポスター」等での啓発が大事と思う。
VRで空襲当時の町並みがスマホで見ることができる。
DVDをつくり、地区・マンション単位に回覧する。
アニメーションなどで観賞する。
VRを使ってみては？
VRを使った疑似体験。
映画や経験者の談話。
戦争の映像を見せる。
映画上映や写真展。
映画。
・ 広報手段
市政だよりに「子ども新聞」あるいは「子ども市政だより」のような紙面を毎号確保し、子どもの頃から興味や関心を持ってほしい政治や世の中のしくみ、特に千葉市に関する歴史や今時の関心事（例：命名権てなに？）等を掲載し、6・7月号で平和啓発活動や市内の戦跡についての特集を掲載してはどうかと思います。読み聞かせ等では見聞きする子どもに限られてしまいますし、場所や時間や予算にとらわれずに周知するには市政だよりが最も有効な伝達手段であると考えます。子ども達にも千葉市の事をより深く知ってもらい、千葉市をより好きになってもらいたいです。そして今の子ども達に未来の千葉市をより良い形にしてもらう為にも、千葉市についてをきっかけに、世の中の事、政治の事について、子どもの頃から関心を持ち楽しく学ぶ機会を市政だよりを通して与えられるのが今の千葉市の大人が子ども達にしてやれる事なのではないかと考えます。
愚生は昭和17年生まれで、微かに母親の背中で、大家具に布団で背負われて、当時に日大文理学部の方角へ逃げた記憶があります。西の空が真っ赤になっていたのを覚えています。後で親に聞かされたのが刷り込まれたのかもしれません。多分、千葉市にも、東京や埼玉などから移り住んできた方の多いかと思いますが、もっと県紙、市紙、区紙などで戦争の悲惨さを募ってもいいのではないのでしょうか。とかく、千葉、千葉となりますが、戦争には地域は関係ありません。生きる、生き抜く、という精神が大事なのです。あのヤミ市から生き抜いた私たちがいま生きているのですから、もっと市民から当時のことを聞き出す姿勢が必要なのではないのでしょうか。ご無礼をお許しくださいませ。
戦前は千葉市は偉大なる軍事都市でした。このことを知っている人は今では80歳以上の人だけでしょう。広い土地、有望な人物が皆軍関係に取られていましたから、これからはすべて平和目的に使用、配置すべきです。このことを市は知らしめてください。
そもそも平和事業を知らなかったので人が多く集まる場所でのPRが必要。次世代に引き継ぐように子供たちにもわかりやすく話していく為にもまずは大人が理解しなくてはいけないですね。

もう伝える側も戦争を知らない時代になった。押し付けがましくなったり、抽象的な理念に走ったりせずに、身近に起きた現実として伝えていく必要がある。
市政だよりの中にもそのような啓発事業についての情報を一年に一回くらいは掲載したらいかがでしょうか？（すでに掲載されているのでしょうか？）
通常日常では、あまり目に触れる事がない。広報などでもっとアピールするべきと考える。
現実的に戦争状態にある国の状態、例えばシリアなどの現状を広く知らせる。
啓発事業自体があまり知られていない。とにかく目に触れさせること。
現在行っている、啓発事業の積極的なアピール（広報など）。
現在の取り組みなどを広報などに掲載するのが望ましい。
新聞広告にまぜることや、市政だよりのにのせる。
いろいろな機会、場所を利用して広報していく。
アナウンスの仕方が大事だと思います。
新聞、ネット発信。

・インターネットの活用

核家族化が進む中、代々の後世につなげていくことが難しい世の中となっておりまいました。そのためには、現代の若者たちが取り込みやすい、たとえばパソコン、スマホ、その他ゲームとか日常簡単に情報を取り込み又、興味を示せるような啓蒙活動ができればいいかと思います。
動画サイトや、テレビ、ネット広告などがいいと思うが、私世代だと子育てしていて、ネットを見る機会が少ないと思う。
デジタルデバイスでの啓蒙をお願いしたい（趣旨にそぐわないかもしれないが、時代が要請している）。
若い世代へのアプローチとしては、youtubeなどのメディアも利用し内容も興味を惹くものに。
戦争に関する動画をyoutube等を使って配信すると効果的かと思います。
ネットでの配信がちょっとした時に読むことができるので有効だと思います。
SNSなどで(熊谷さんのTiwttter)情報発信が良いと思います。
なかなか足を運ぶことは難しいのでWebで詳しく紹介してほしい。
ネットでの詳細掲載、語り部のお話。
SNS配信。

・駅構内などでの啓発

お役所は無駄なパンフレットを作りすぎる。それよりも人が立ち止まるようなところ、駅やバス停、ATMを待っている間など、目に出来るポスターを定期的、継続的に貼ってもらう方が良いと思う。また、そのデザインも大切。
千葉市で空襲被害があったのを知らなかったのが驚きました。啓発活動は駅などでビラ貼りという形で宣伝してはどうでしょうか。また戦争の悲惨さは自分は、漫画で学んだので図書館などにもおいてほしいです。

駅の掲示板を見る機会が多いため積極的に発信したらよい。広報等で積極的に啓発することが必要と思う。

駅前などで小学生、中学生によるパンフレットの配布をするなどの平和啓発運動をさせると大人も考える。

千葉空襲写真パネル展を小規模に、駅などに展示する。

駅など人が集まるところでパンフレットを配布する。

千葉駅構内に写真掲示する。

駅でパネル展示。

・マンガや絵本などの活用

若世代に伝えたいなら、漫画やライトノベルのように読みやすい形態にしてはどうだろうか。

漫画や小説、アニメなど、子供達に身近なコンテンツで戦争の実態をきちんと伝えること。

若者に対して、漫画を使った方法は、効果的だと思います。

マンガを活用してはどうか？アニメも有効。

分かりやすい絵本があると良いかも。

・テレビの活用

TV放送などで十分啓発されていると思う。千葉市はもっと経費の節減に対する啓発の方が重要である。子供たちに高い税金負担を強いることは避けるべきです。現在多発している交通事故による被害は運転手のマナーの悪さによるもので、免許更新時に厳密にチェックすべきである。

千葉空襲について、テレビで放映する。いまだにテレビの力は大きいと思います。

千葉テレビに協力してもらいスポット番組を制作して流す。

・戦跡めぐり

大勢でのウォーキングはちょっと…ですが、個人的に戦跡めぐりしてみたいです。

戦跡めぐりウォーキングは、学生にも啓発してほしいです。

広島・長崎などへの市民ツアー。

・ポスターの活用

周知には、やはり駅等の公共期間周辺への掲示が良いと。980年のポスターのように効果ありと思います。戦争が悲惨であったことは写真で映像でわかることですが、なぜ戦争に至ったのかが教育されていないとおもいます。

このような啓発事業がある事を知らなかった。駅とか人の集まる場所に、掲示板のようなものを設けてポスターなど貼ったりして、周知する事が必要ではありませんか？

・その他、啓発手段

私自身、「像」の存在を認識していませんでした。人の集まる所には必ずこれらを設置し、これを起点として活動につなげていくような案を練る。千葉市での啓蒙活動というのは、活動根拠のパワーが弱いのでは。何か中央とリンクして進めていくのが良いと思う。

周年で日付を決めて、啓発のキャンペーンを打つのが良いと思う。あまり普段から多すぎると却って効果が薄くなるので、周年くらいが丁度良い。

若い世代が良く訪れる場所への掲示。

冊子を家庭に送付。

(展示方法に関するご意見：8件)

空襲以前以後の町並みの対比、航空写真など。戦前の平和だった頃の営みの写真、それが焦土となり、現在がある。戦争の、空襲の被害者のしての悲惨さでは、実際に知る人がいなくなればなるほど過去に埋もれてしまう。また悲惨さだけでは天災による悲惨さと変わらないと思う。戦争は人の手で行われた惨事である事明確にして行くべきと思う。現在の繁栄がなぜ尊いものか、繁栄は降って湧いたものではなく、戦前にだって明治以降先人達の努力で築き上げて来たものを、人の判断の帰結として、焦土にしてしまうまで戦争を継続してしまった失敗。それらをつないでこそ戦争に負け、その上で現在の発展が父祖(現在の高齢者以上の鬼籍に入った方々の)の努力によるものであり、どの様にして現在があるのか、過去から現在を繋げて啓蒙する事こそ、未来につながると私は思います。

現施設の中身を知らずに記します。展示物は戦争当事国双方の被災状況を展示する方が「戦争の愚かさ」を理解するのに役立つと思います。短慮な人びとは展示物を観る都度「ひどいことをしやがって！」と受け取りかねません。総ての観覧者が「双方にとって益なし・するものではない」という気持ちになって退館してもらうことを目的に。

きぼ一るでの写真、パネル展示に伺ったことがあります。このような展示物を通年で観覧することができる場所があれば、子どもたちの学習の機会も増えるのではないのでしょうか。

デパート・大手スーパーのモール・駅の通路を活用したなどでの写真の展示など。

戦争の恐ろしさ、醜さ怖さ、等々パネル等を展示アピール。

戦争の写真、映像、食品の貧しさの展示、紹介。

博物館等に展示スペースを常設で設ける。

パネルや映像を提示する。

(その他のご意見：44件)

確かに啓発活動は重要であると思う反面、自分自身もそうであるが身をもって戦争を体験していないので、どうしても戦争の恐怖や悲惨というものが実感としては乏しい。戦後70年超となって平和希求の掛け声は大事ではあるが特別なものではなくなっている。「なんとなく平和は大事」「憲法9条が規定しているから平和主義」という抽象的な観念として捉えられかねない。あくまで啓発の実効性を高めたいという観点だけで考えれば、たとえば他国の紛争地などに若者を送り込んで身をもって体感させるとか、実現性は乏しいでしょうけれど、そういう方法も考え方としてはありうるのではないかと考える。

戦争を伝える際、悲惨さをクローズアップするよりも、世界という次元での平和や、命の尊さを学ぶことがもっと大事だと思います。戦争は国家のエゴの現れと思いますが、個人や家庭、親族、地域など、どこにもエゴがあります。どんなに切実に平和を求めても、国家の壁を越えられない、他人を家族のように大切にできない意識では実現できません。ただ、命を軽んじる思想がある以上は無防備になれとも言えません。美化することもできませんが、よく戦争の悲惨さから軍勢力の放棄へつなげる向きもあり、それは無謀な論理だと考えます。事実をそのごとくに伝えることがまず第一だと思います。

日本の平和教育は、敗戦と自国内の被害ばかり強調しすぎ。中韓のご都合主義な歴史解釈を鵜呑みにし、チベットやウイグル植民支配、北朝鮮や韓国の自国民虐殺、台湾の228事件を見過ごす。また日本人が共産勢力に海外で虐殺された戦後のシベリア抑留、戦前の尼港事件など。そのバランスを考えないと、本当の平和主義ではない。

家族や身近な人と一緒に学べる場を作る。若い世代が関心のあるコンテンツと連携して啓発する(若年層が集まる既存イベントとの連携、SNSでの発信、デジタル投稿キャンペーン、ゆかりのある場所を親子で回れるイベント・キャンペーン等)。美術館、博物館など文化的な場所から発信する(作品募集、企画展等)。

一方的に、戦前の日本が侵略国家だったと決めつけて「戦争の悲惨さ・平和」を伝えるのではなく、何故、そのような選択をしなくてはならなかったのか(当時の国際情勢等)を併せて伝えるべき。観念的な平和理論は無意味である。現在の中国や北朝鮮・シリア等の状況も考えさえた方が良い。

良くない事かもしれないが、現代において「平和啓発」はもはやピンと来ないと思う。だが、当然ながら事業が無意味とは全く思わない。具体的な案が挙げる訳でもなく申し訳ないが、失礼ながらやる側が満足するだけの「手段が目的化」しないようにしていただきたい。
政治家が法律を逃れるような行動をとっているような街ではよくなるとは思えない。まずは為政者が身を正すことが大事であり、それなくして平和を論ずる資格はない。言葉でなく、行動で示してほしい。まずは千葉市的美観条例をきちんと守らせることではないか。
私は3月10日の東京大空襲の生き残りです。平和は大切ですが何故戦争が起きたかを検証すべきです。身内も被害にあっております。大事なことは戦争を決断した責任者は誰なのかを明確にすべきです。我が国が一方向的に悪いと言うような風潮もあってはならない。
社会科で学ぶこともいいが、自分のように大人になってから転入してきた者は分かりづらい。公的な場所で啓発事業を行われていても、なかなか行かないから分かりづらい。どうしたらいいものか…。
既に今は平和が蔓延しているので・・・啓蒙活動は不要かと。その代わりに、何が平和なのか考える時間が個々に必要なんじゃないかなと、そう思っています。
チャーチルの「第二次大戦は回避することができた」的な平和の発想も重要だと考えます。日本の平和教育を尊重するという温厚なテロリストは存在しない。
問20、22を含めて継続的な活動があっても良い。風化されてしまいそうな戦跡などは残しておくべきものと資料でよいものと大局的に判断して貰いたい。
直接政治家と対話する機会を設ける。結果を選挙に反映させる。選挙の時だけ平和を唱えて効果はない。誰も信用しない。楽しい平和デモ行進を企画する。
戦争は「ない」「しない」ほうが良い。ただ、「勝てば官軍負ければ賊軍」の現状を見ると、攻めこまれた場合のこと、日ごろの準備対策準備は必要です。
市長が桜木霊園を訪れていることは知っておりました。住民の身近なところに平和に関するモニュメントがありますと、意識できる気がしております。
戦争が悲惨なのはわかりますが、悲惨というだけではアピールが出来ない。○が×だから△という努力が必要、という具体的なアピールをぜひ。
出来る限り機会を設けて、戦争の悲惨さをアピールして、子供時代から戦争の恐ろしさ、悲惨さ、後世に伝わることなど伝えるべきと思う。
あまりよく知らなかったことを反省しました。自分も子どももしっかり見て理解して伝えていきたいと思います。
これから戦争を知らない世代がどんどん増えていく中、戦争について知る機会があることはとても大切だと思う。
実際にどこで発信されているのか分かりませんので、回覧板等、自治会を通じて啓蒙されてはいかがでしょうか。
戦争に巻き込まれたということは、今住んでいるところが戦場であるということを認識することだと思います。
広島や長崎のように、毎年原爆投下時間に防災無線でサイレンをならして黙祷すると良いと思います。
戦争を知らない世代に戦争の悲惨さや平和の大切さを伝えていくことが本当に必要なのだろうか？
失うものも多いが、得るものもある。若者は平和ボケしているので、経験させてもいいと思う。
戦争に至るメカニズムを解析し、回避するためにはどのような手段があるかを追求する。
主人は詳しいが私はあまり詳しくありません。少し知っていく必要があると感じました。
政治や政党に騙らないようにお願いしたい。元社民党の元役人の自重を願う。

被害だけを取り上げるのではなく、基地のプラスの側面にも目を向けるべきだ。
戦争を知っているものからすると、被害は千葉市だけではない。
イデオロギーを排して、史実と祖先への感謝を表明したい。
スーパーやコンビニなどにも啓蒙のポスターを張る。
各家族で語りつないでいくことが大切だと思います。
別になし。政治を変えることが大事。
現状の活動で、良いと思います。
平和の重要性を強調すること。
私の場合は、祖母から聞いた。
たえまなく、平和を説くこと。
自虐ではない正しい歴史。
国がやるべき事だと思う。
現憲法の学習会・討論会。
子どもへの読み聞かせ。
記念日設定。
とても必要。
命の尊さ。